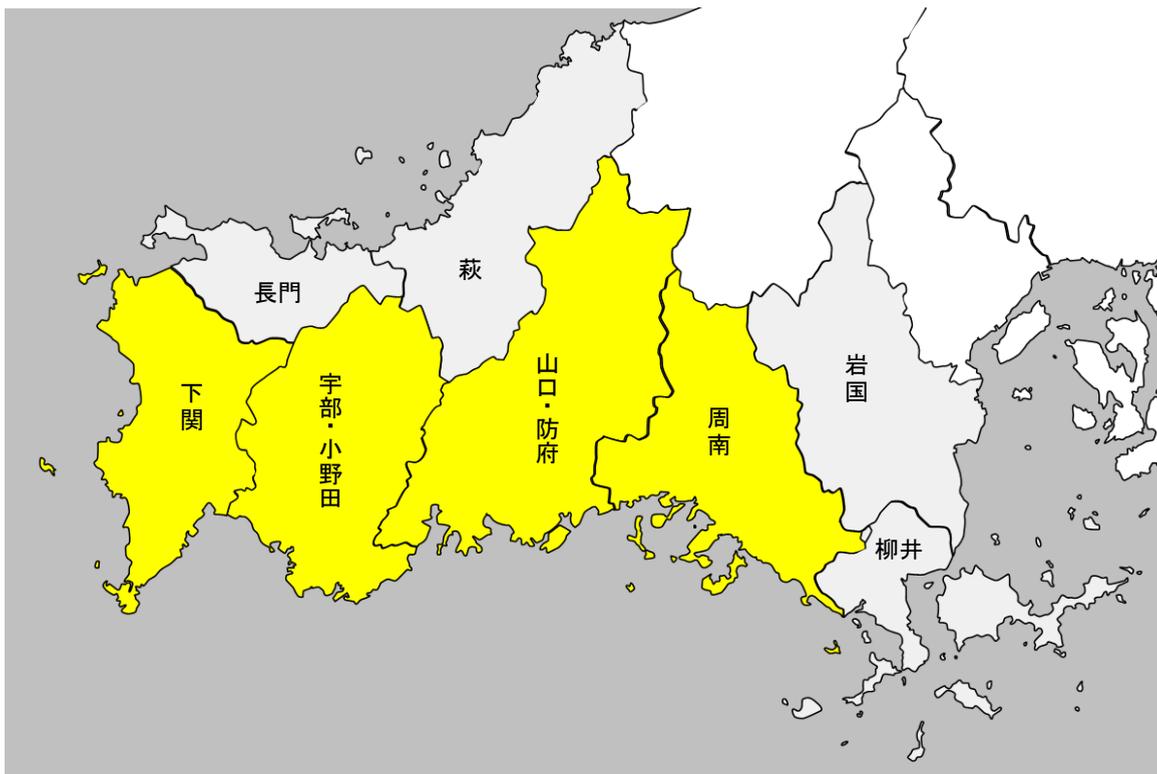


35. 山口県

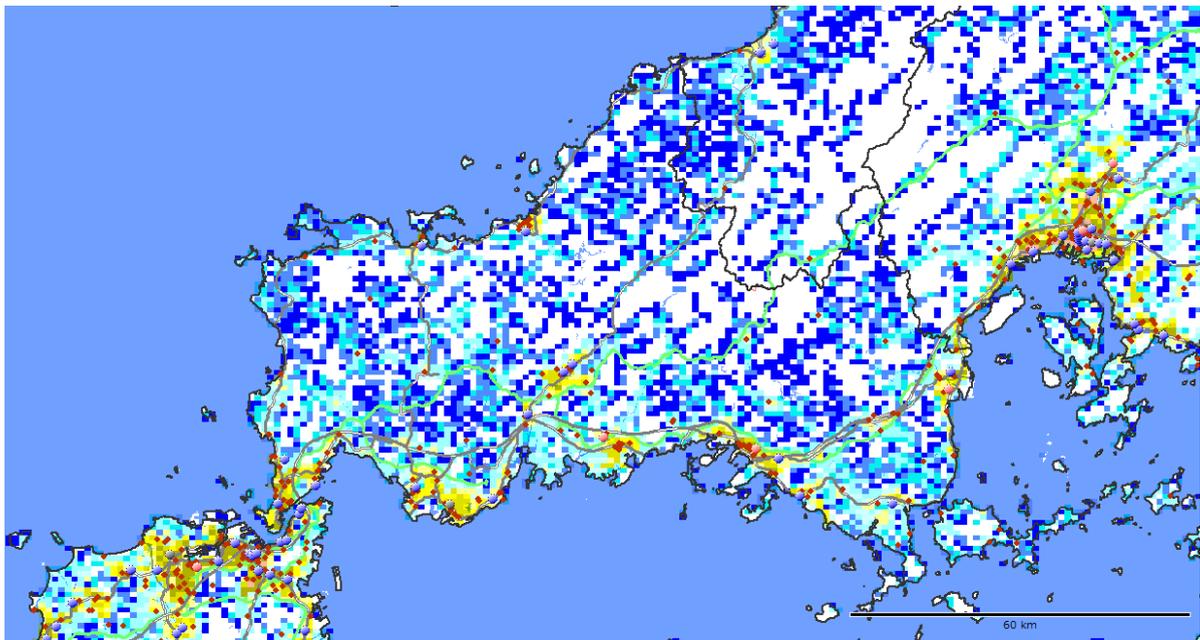


目次

山口県	35	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	35	-	8
1. 岩国医療圏	35	-	26
2. 柳井医療圏	35	-	31
3. 周南医療圏	35	-	36
4. 山口・防府医療圏	35	-	41
5. 宇部・小野田医療圏	35	-	46
6. 下関医療圏	35	-	51
7. 長門医療圏	35	-	56
8. 萩医療圏	35	-	61

35. 山口県

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キ口)



Ⅲ群

一般病院

(山口県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 山口県は、総人口約1399千人(2015年推計)、面積6114km²、人口密度は229人/km²である。

*人口の将来予測： 山口県の総人口は2025年に1275千人へと減少し(2015年比-9%)、2040年に1070千人へと減少する(2025年比-16%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の228千人が、2025年にかけて278千人へと増加し(2015年比+22%)、2040年には250千人へと減少する(2025年比-10%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 山口県の一人当たり医療費(国保)は393千円(偏差値68)、介護給付費は258千円(偏差値51)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 山口県の一人当たり急性期医療密度指数²は1.13、一人当たり慢性期医療密度指数²は2.51で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が51(病院医師数50、診療所医師数51)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は62と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は54で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は53とやや多い。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は71と療養病床数は非常に多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値58と多く、回復期病床数は偏差値55とやや多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は58で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は56で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 山口県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、22331人(75歳以上1000人当たりの偏差値49)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が14505床(偏差値53)、高齢者住宅等が7826床(偏差値46)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、18137人(75歳以上1000人当たりの偏差値52)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設49、特別養護老人ホーム49、介護療養型医療施設63、有料老人ホーム42、軽費ホーム57、グループホーム49、サ高住53である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値45とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値50と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値48と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、2541人(75歳以上1000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数⁴は-7%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

山口県の総人口は、2005年1492606人が、2015年に1398700人と6%減少し、2025年の人口が1275187人と予測され、2005年→2025年の間に15%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に6%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の減少が予測される。

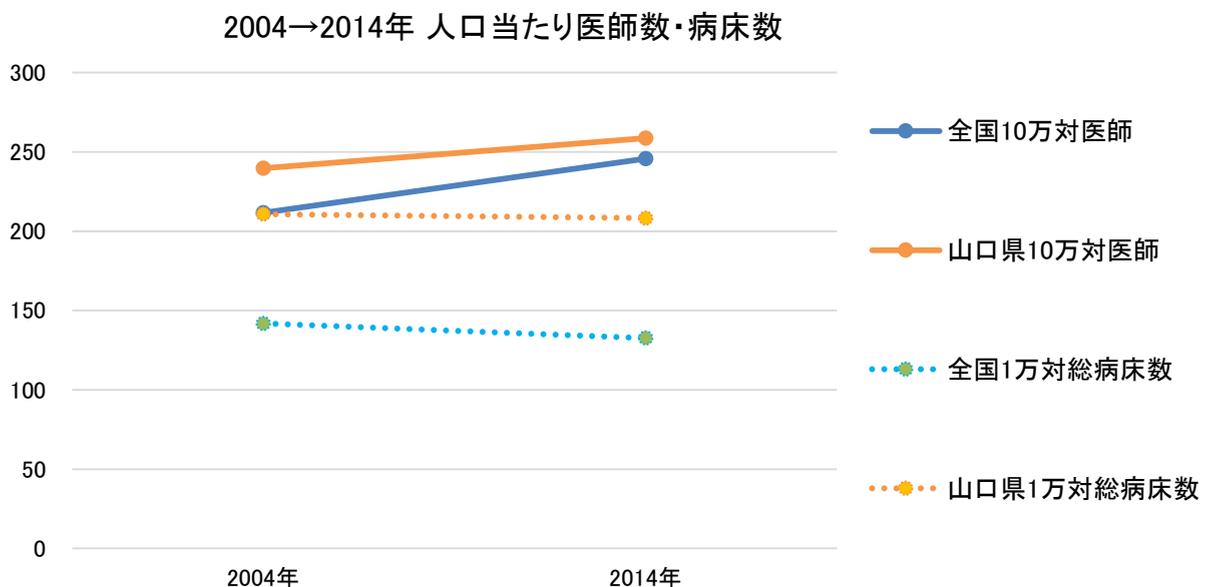
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が151(人口10万人当たり10.1病院(全国平均7.1)偏差値58)であったが、2014年に147(人口10万人当たり10.5病院(全国平均6.7)偏差値59)となり、10年間で4病院が減少した。

2004年の診療所数が1326(人口10万人当たり89診療所(全国平均76)偏差値56)であったが、2014年に1274(人口10万人当たり91診療所(全国平均79)偏差値56)と、52診療所が減少した。

2004年の総病床数が31462床(人口1万人当たり211(全国平均142)偏差値62)であったが、2014年に29132床(人口1万人当たり208(全国平均133)偏差値63)と、2330床の減少、率にして7%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

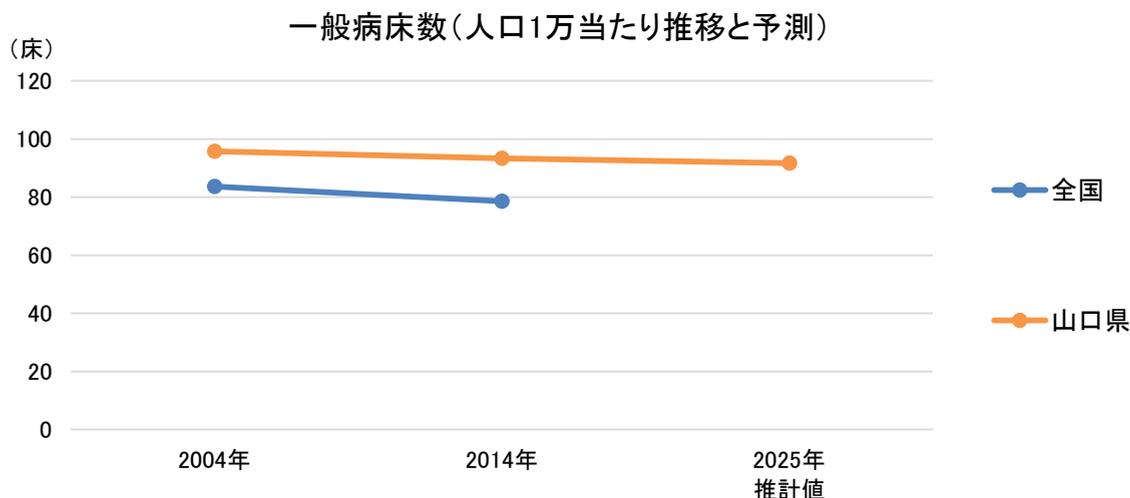
2004年には病院と診療所合わせての医師数³が3578人(人口10万人当たり240人(全国平均212人)偏差値53)であったが、2014年に3619人(人口10万人当たり259人(全国平均246人)偏差値51)と、41人の増加、率にして1%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



35. 山口県（2016年版）

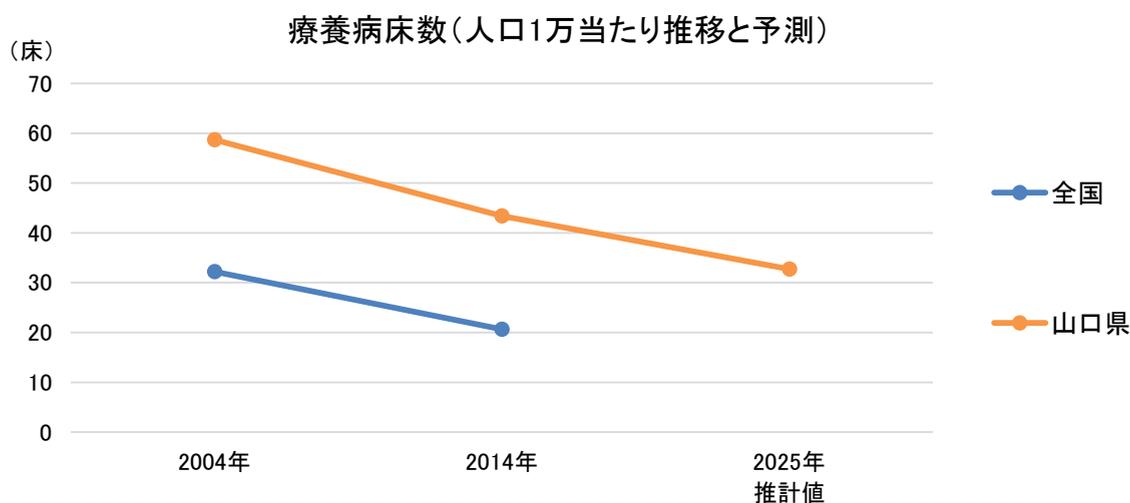
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が14289床(人口1万人当たり96(全国平均84)偏差値54)であったが、2014年に13051床(人口1万人当たり93(全国平均79)偏差値55)と、1238床の減少、率にして9%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には11689床(2025年の推計人口1万人当たり92)になることが予想される。



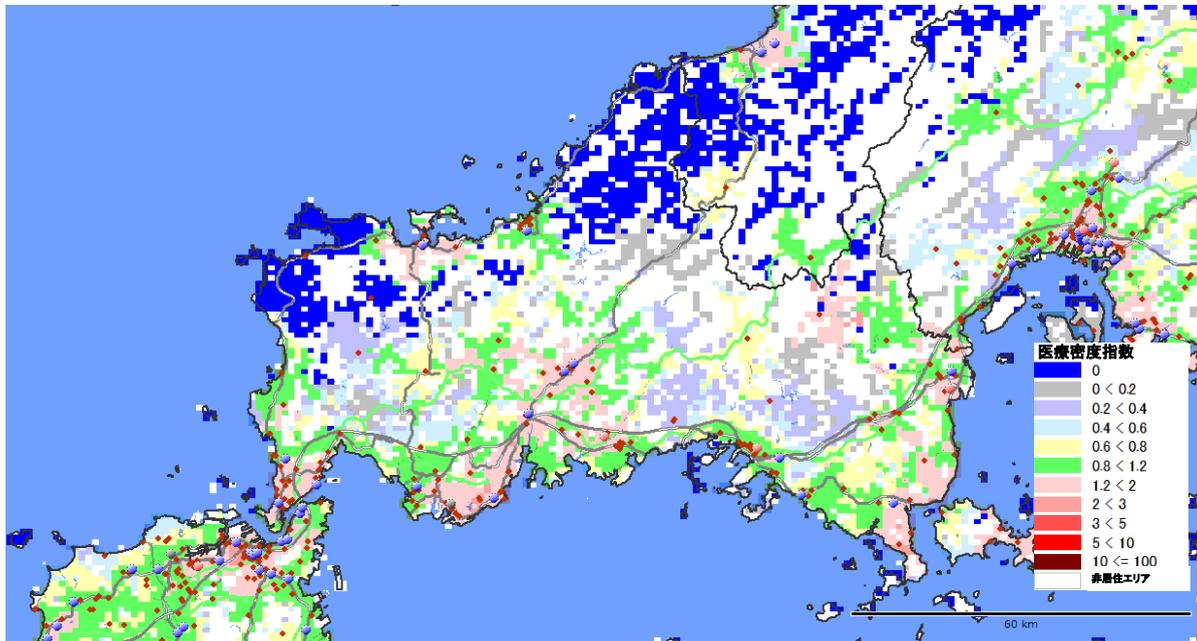
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が10669床(75歳以上1000人当たり59(全国平均32)偏差値65)であったが、2014年に9922床(75歳以上1000人当たり43(全国平均21)偏差値70)と、747床の減少、率にして7%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には9102床(2025年の推計75歳以上1000人当たり33)になることが予想される。

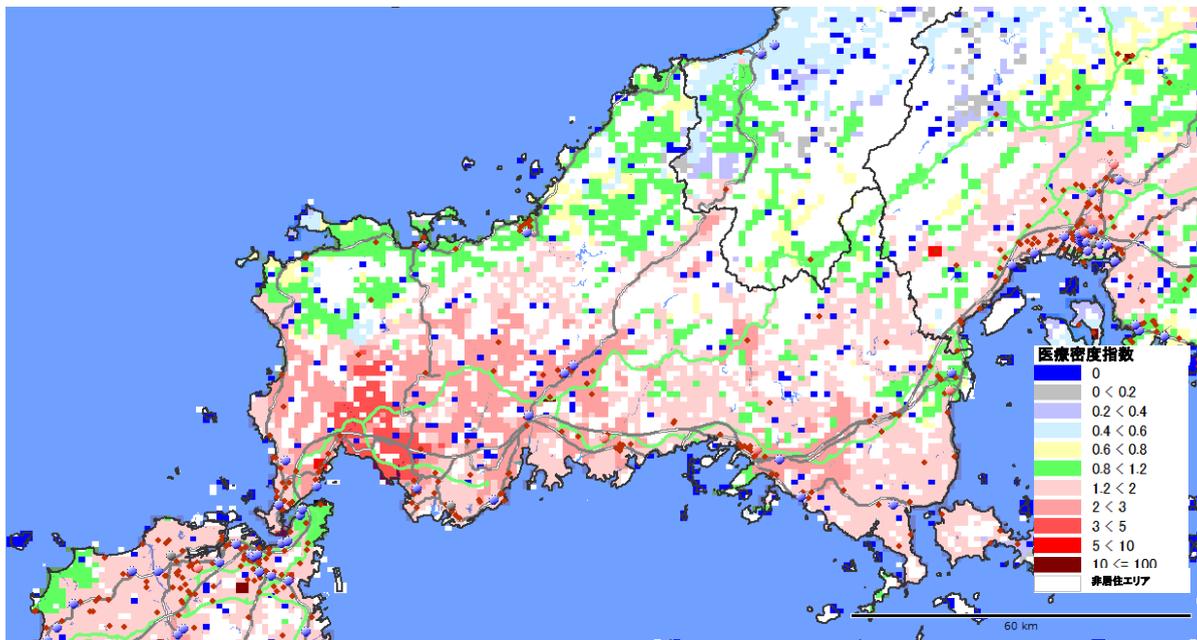


3. 医療密度⁵

図表35-1 急性期医療密度指数マップ



図表35-2 慢性期医療密度指数マップ



35. 山口県（2016年版）

資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料⁶

資_図表 35-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	126,661		372,903		339.7		27%	120,700	107,439	16,459	21,775	22,232	-5%	-11%	32%	2%
山口県	1,399	27位	6,114	23位	228.8		32%	1,275	1,070	228	278	250	-9%	-16%	22%	-10%
岩国	144	10%	884	14%	162.3	過疎地域型	33%	129	106	25	29	26	-10%	-18%	16%	-10%
柳井	81	6%	398	7%	204.4	地方都市型	40%	70	55	18	20	16	-14%	-21%	11%	-20%
周南	252	18%	838	14%	300.4	地方都市型	31%	234	202	37	49	43	-7%	-14%	32%	-12%
山口・防府	308	22%	1,212	20%	254.2	地方都市型	28%	292	260	44	56	55	-5%	-11%	27%	-2%
宇部・小野田	257	18%	893	15%	287.7	地方都市型	32%	234	195	41	50	46	-9%	-17%	22%	-8%
下関	269	19%	716	12%	375.4	地方都市型	33%	242	197	46	54	48	-10%	-19%	17%	-11%
長門	35	3%	358	6%	99.1	過疎地域型	40%	30	22	8	8	7	-14%	-27%	0%	-13%
萩	53	4%	815	13%	64.8	過疎地域型	41%	44	32	12	13	10	-17%	-27%	8%	-23%
出典	<人口(2015年、2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月 <面積>都道府県・市区町村別主要統計表 総務省統計局 平成22年															

資_図表 35-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度指数 (%)	
			2025年	2040年
全国	1.00	1.00	-26.7%	-27.2%
山口県	1.13	2.51	-18.9%	-6.9%
岩国	1.19	5.84	-1.1%	10.1%
柳井	1.15	1.46	10.6%	27.2%
周南	0.87	2.35	-37.2%	-20.2%
山口・防府	1.24	2.47	-29.5%	-29.0%
宇部・小野田	1.26	3.08	-25.6%	-14.1%
下関	1.22	2.94	-37.4%	-20.7%
長門	0.93	3.30	-7.0%	11.8%
萩	0.58	2.39	-1.8%	17.2%
出典	<一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。 <75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2016年の全国平均(99.3床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。			

資_図表 35-3 医療費、介護給付費⁷

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	319	(41)	1.000	254	(37)
山口県	393	68	1.118	258	51
岩国	388	67	1.112	263	53
柳井	412	72	1.138	268	54
周南	368	62	1.037	231	44
山口・防府	377	64	1.086	262	52
宇部・小野田	424	75	1.201	271	55
下関	401	70	1.142	256	51
長門	405	71	1.111	235	45
萩	387	66	1.075	279	57
出典	<一人あたり医療費>平成25年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成26年度介護保険事業状況報告(年報) 平成26年度累計(平成26年3月サービス分から平成27年2月サービス分まで)				

資_図表 35-4 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,493		6.7	(4.1)	100,461		79	(19.5)
山口県	147	1.7%	10.5	59	1,274	1.3%	91	56
岩国	17	12%	11.8	62	129	10%	90	55
柳井	9	6%	11.1	61	72	6%	89	55
周南	24	16%	9.5	57	218	17%	87	54
山口・防府	27	18%	8.8	55	255	20%	83	52
宇部・小野田	30	20%	11.7	62	246	19%	96	58
下関	27	18%	10.0	58	273	21%	102	61
長門	6	4%	16.9	75	27	2%	76	48
萩	7	5%	13.3	66	54	4%	102	62
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

35. 山口県（2016年版）

資_図表 35-5 診療所数（全体、無床、有床）

二次医療圏	診療所数（再掲）				無床診療所数				有床診療所数			
	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	有床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	100,461		79	(19.5)	92,106		73	(19.0)	8,355		6.6	(6.6)
山口県	1,274	1.3%	91	56	1,132	1.2%	81	54	142	1.7%	10.2	55
岩国	129	10%	90	55	116	10%	81	54	13	9%	9.1	54
柳井	72	6%	89	55	63	6%	77	53	9	6%	11.1	57
周南	218	17%	87	54	198	17%	79	53	20	14%	7.9	52
山口・防府	255	20%	83	52	226	20%	73	50	29	20%	9.4	54
宇部・小野田	246	19%	96	58	229	20%	89	59	17	12%	6.6	50
下関	273	21%	102	61	229	20%	85	57	44	31%	16.4	65
長門	27	2%	76	48	23	2%	65	46	4	3%	11.3	57
萩	54	4%	102	62	48	4%	91	60	6	4%	11.4	57
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 35-6 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院総病床数				診療所病床数				病院+診療所病床数			
	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院+ 診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,568,261		1,238	(503)	112,364		89	(106)	1,680,625		1,327	(565)
山口県	27,120	1.7%	1,939	64	2,012	1.8%	144	55	29,132	1.7%	2,083	63
岩国	2,347	9%	1,635	58	152	8%	106	52	2,499	9%	1,741	57
柳井	2,480	9%	3,050	86	133	7%	164	57	2,613	9%	3,214	83
周南	3,696	14%	1,469	55	309	15%	123	53	4,005	14%	1,591	55
山口・防府	4,794	18%	1,556	56	406	20%	132	54	5,200	18%	1,688	56
宇部・小野田	6,169	23%	2,400	73	230	11%	89	50	6,399	22%	2,490	71
下関	5,651	21%	2,102	67	672	33%	250	65	6,323	22%	2,352	68
長門	933	3%	2,631	78	54	3%	152	56	987	3%	2,784	76
萩	1,050	4%	1,988	65	56	3%	106	52	1,106	4%	2,094	64
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資_図表 35-7 病院病床数(一般病床、療養病床、精神病床)

二次医療圏	一般病床				療養病床				精神病床			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	894,216		706	(229)	328,144		259	(210)	338,174		267	(219)
山口県	11,258	1.3%	805	54	9,703	3.0%	694	71	6,059	1.8%	433	58
岩国	1,068	9%	744	52	754	8%	525	63	525	9%	366	55
柳井	872	8%	1,072	66	1,048	11%	1,289	99	560	9%	689	69
周南	1,732	15%	688	49	1,343	14%	534	63	609	10%	242	49
山口・防府	2,146	19%	697	50	1,463	15%	475	60	1,171	19%	380	55
宇部・小野田	2,573	23%	1,001	63	1,997	21%	777	75	1,569	26%	610	66
下関	2,172	19%	808	54	2,333	24%	868	79	1,110	18%	413	57
長門	364	3%	1,027	64	243	3%	685	70	318	5%	897	79
萩	331	3%	627	47	522	5%	988	85	197	3%	373	55
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 35-8 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数⁸

二次医療圏	回復期病床				地域包括ケア病床			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	70,480		56	(47)	36,025		34	(48)
山口県	1,123	1.6%	80	55	1,069	3.0%	76	59
岩国	96	9%	67	52	52	5%	36	50
柳井	0	0%	0	38	54	5%	66	57
周南	330	29%	131	66	226	21%	90	62
山口・防府	94	8%	31	45	171	16%	56	54
宇部・小野田	211	19%	82	56	200	19%	78	59
下関	392	35%	146	69	328	31%	122	68
長門	0	0%	0	38	38	4%	107	65
萩	0	0%	0	38	0	0%	0	43
出典	平成26年度病床機能報告				平成28年6月地方厚生局(関東信越厚生局のみ7月公表分)。近畿厚生局は病床数データがないため非掲載。			

35. 山口県（2016年版）

資_図表 35-9 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	549,932	467,163	29,302	1,011,492	427,742	293,995	52.2%	(24%)	9.1%	(23%)
山口県	8,848	7,712	837	18,165	3,634	8,763	68.0%	56	8.7%	50
岩国	648	648	0	1,699	420	754	60.7%	53	0.0%	46
柳井	900	840	60	1,520	32	988	96.3%	68	5.7%	49
周南	1,222	974	248	2,474	792	1,073	55.2%	51	18.8%	54
山口・防府	1,613	1,469	142	3,181	692	1,318	68.0%	56	9.7%	50
宇部・小野田	2,186	1,744	181	3,983	829	1,816	67.8%	56	9.1%	50
下関	1,870	1,719	115	3,734	484	2,140	78.0%	61	5.1%	48
長門	309	218	91	624	154	152	58.6%	53	37.4%	62
萩	100	100	0	950	231	522	30.2%	41	0.0%	46
出典	地方厚生局届出受理名簿平成27年5月公表データをもとに株式会社ウエルネスが集計（一部、ウエルネス独自調査含む） 公的病院はここでは、開設者が国もしくは都道府県、市町村、地方行政法人、その他の公的医療機関（日赤など）としている。									

資_図表 35-10 全身麻酔件数、分娩件数（年間）

二次医療圏	全身麻酔件数				分娩件数			
	全身麻酔 件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	分娩件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	2,818,920		2,226	(1,063)	1,022,592		807	(286)
山口県	35,844	1.3%	2,563	53	12,036	1.2%	861	52
岩国	3,288	9%	2,291	51	1,104	9%	769	49
柳井	1,656	5%	2,037	48	420	3%	517	40
周南	4,704	13%	1,869	47	2,652	22%	1,054	59
山口・防府	8,424	24%	2,735	55	2,664	22%	865	52
宇部・小野田	8,808	25%	3,427	61	2,268	19%	882	53
下関	7,608	21%	2,830	56	2,256	19%	839	51
長門	516	1%	1,455	43	216	2%	609	43
萩	840	2%	1,591	44	456	4%	863	52
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 35-11 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数				病院医師数				診療所医師数			
	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	340,791		269	(92)	210,112		166	(67)	130,678		103	(33)
山口県	3,844	1.1%	275	51	2,343	1.1%	167	50	1,501	1.1%	107	51
岩国	333	9%	232	46	197	8%	137	46	135	9%	94	47
柳井	190	5%	233	46	119	5%	146	47	71	5%	87	45
周南	589	15%	234	46	324	14%	129	44	265	18%	105	51
山口・防府	764	20%	248	48	446	19%	145	47	318	21%	103	50
宇部・小野田	986	26%	383	62	687	29%	267	65	299	20%	116	54
下関	780	20%	290	52	448	19%	167	50	333	22%	124	56
長門	85	2%	239	47	60	3%	168	50	25	2%	71	40
萩	119	3%	224	45	63	3%	118	43	56	4%	106	51
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 35-12 専門医数(総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科専門医数				小児科専門医数				産婦人科専門医数			
	総合内科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	小児科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	産婦人科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	15,664		12.4	(6.7)	12,494		9.9	(4.6)	10,443		8.2	(3.8)
山口県	139	0.9%	9.9	46	132	1.1%	9.4	49	107	1.0%	7.6	48
岩国	11	8%	7.7	43	9	7%	6.3	42	8	7%	5.6	43
柳井	7	5%	8.6	44	5	4%	6.1	42	5	5%	6.1	45
周南	14	10%	5.6	40	23	17%	9.1	48	17	16%	6.8	46
山口・防府	27	19%	8.8	45	33	25%	10.7	52	27	25%	8.8	51
宇部・小野田	45	32%	17.5	58	36	27%	14.0	59	26	24%	10.1	55
下関	25	18%	9.3	45	23	17%	8.6	47	19	18%	7.1	47
長門	3	2%	8.5	44	2	2%	5.6	41	2	2%	5.6	43
萩	7	5%	13.3	51	1	1%	1.9	33	3	3%	5.7	43
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

35. 山口県 (2016年版)

資_図表 35-13 専門医数 (皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科				眼科				耳鼻咽喉科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,278		4.2	(2.1)	9,392		7.4	(3.2)	7,466		5.9	(2.6)
山口県	63	1.2%	4.5	52	96	1.0%	6.9	48	86	1.2%	6.1	51
岩国	4	6%	2.8	44	7	7%	4.9	42	9	10%	6.3	51
柳井	2	3%	2.5	42	2	2%	2.5	35	0	0%	0	27
周南	11	17%	4.4	51	18	19%	7.2	49	17	20%	6.8	53
山口・防府	12	19%	3.9	49	19	20%	6.2	46	17	20%	5.5	49
宇部・小野田	20	32%	7.8	67	29	30%	11.3	62	27	31%	10.5	68
下関	13	21%	4.8	53	16	17%	6.0	45	12	14%	4.5	45
長門	0	0%	0	30	2	2%	5.6	44	1	1%	2.8	38
萩	1	2%	1.9	39	3	3%	5.7	45	3	3%	5.7	49
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 35-14 専門医数 (精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	8,293		6.5	(3.5)	20,395		16.1	(7.2)	15,369		12.1	(4.5)
山口県	104	1.3%	7.4	53	234	1.1%	16.7	51	200	1.3%	14.3	55
岩国	16	15%	11.1	63	25	11%	17.4	52	14	7%	9.8	45
柳井	6	6%	7.4	52	11	5%	13.5	46	7	4%	8.6	42
周南	15	14%	6.0	48	28	12%	11.1	43	25	13%	9.9	45
山口・防府	27	26%	8.8	56	44	19%	14.3	47	46	23%	14.9	56
宇部・小野田	29	28%	11.3	63	72	31%	28.0	67	54	27%	21.0	70
下関	8	8%	3.0	40	41	18%	15.2	49	41	21%	15.2	57
長門	3	3%	8.5	55	4	2%	11.3	43	4	2%	11.3	48
萩	0	0%	0	31	9	4%	17.0	51	9	5%	17.0	61
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 35-15 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,711		4.5	(2.1)	6,376		5.0	(2.4)	5,300		4.2	(3.0)
山口県	73	1.3%	5.2	53	90	1.4%	6.4	56	85	1.6%	6.1	56
岩国	6	8%	4.2	48	5	6%	3.5	43	5	6%	3.5	48
柳井	4	5%	4.9	52	3	3%	3.7	44	2	2%	2.5	44
周南	15	21%	6.0	57	13	14%	5.2	51	14	16%	5.6	55
山口・防府	10	14%	3.2	44	16	18%	5.2	51	16	19%	5.2	53
宇部・小野田	21	29%	8.2	68	29	32%	11.3	76	30	35%	11.7	75
下関	15	21%	5.6	55	21	23%	7.8	62	15	18%	5.6	55
長門	1	1%	2.8	42	0	0%	0	29	1	1%	2.8	45
萩	1	1%	1.9	37	3	3%	5.7	53	2	2%	3.8	49
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 35-16 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科				病理				救急科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,566		5.2	(3.1)	1,541		1.2	(0.9)	3,291		2.6	(1.7)
山口県	88	1.3%	6.3	54	12	0.8%	0.9	46	33	1.0%	2.4	49
岩国	3	3%	2.1	40	2	17%	1.4	52	1	3%	0.7	39
柳井	3	3%	3.7	45	0	0%	0	37	0	0%	0	35
周南	13	15%	5.2	50	1	8%	0.4	41	3	9%	1.2	42
山口・防府	18	20%	5.8	52	1	8%	0.3	40	7	21%	2.3	48
宇部・小野田	35	40%	13.6	77	3	25%	1.2	49	17	52%	6.6	73
下関	16	18%	6.0	52	5	42%	1.9	57	4	12%	1.5	44
長門	0	0%	0	33	0	0%	0	37	0	0%	0	35
萩	0	0%	0	33	0	0%	0	37	1	3%	1.9	46
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

35. 山口県（2016年版）

資_図表 35-17 専門医数（形成外科、リハビリテーション科）

二次医療圏	形成外科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	リハビリテ- ション科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,984		1.6	(1.2)	2,370		1.9	(1.3)
山口県	13	0.7%	0.9	45	28	1.2%	2.0	51
岩国	2	15%	1.4	49	3	11%	2.1	52
柳井	0	0%	0	37	0	0%	0	36
周南	2	15%	0.8	44	6	21%	2.4	54
山口・防府	4	31%	1.3	48	5	18%	1.6	48
宇部・小野田	3	23%	1.2	47	5	18%	1.9	51
下関	2	15%	0.7	43	7	25%	2.6	56
長門	0	0%	0	37	0	0%	0	36
萩	0	0%	0	37	2	7%	3.8	65
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月							

資_図表 35-18 看護師数（総数、病院看護師数、診療所看護師数）

二次医療圏	総看護師 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,100,601		869	(289)	903,500		713	(241)	197,102		156	(74)
山口県	17,129	1.6%	1,225	62	14,196	1.6%	1,015	62	2,933	1.5%	210	57
岩国	1,492	9%	1,040	56	1,269	9%	884	57	224	8%	156	50
柳井	1,202	7%	1,478	71	1,029	7%	1,265	73	173	6%	213	58
周南	2,458	14%	977	54	2,023	14%	804	54	435	15%	173	52
山口・防府	3,380	20%	1,097	58	2,794	20%	907	58	586	20%	190	55
宇部・小野田	3,783	22%	1,472	71	3,267	23%	1,271	73	517	18%	201	56
下関	3,707	22%	1,379	68	2,860	20%	1,064	65	847	29%	315	72
長門	482	3%	1,359	67	428	3%	1,207	70	54	2%	151	49
萩	625	4%	1,183	61	527	4%	997	62	98	3%	185	54
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 35-19 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	119,431		94	(52)	288,151		227	(98)
山口県	1,903	1.6%	136	58	3,225	1.1%	231	50
岩国	146	8%	102	51	317	10%	221	49
柳井	75	4%	92	50	167	5%	205	48
周南	384	20%	153	61	594	18%	236	51
山口・防府	319	17%	104	52	723	22%	235	51
宇部・小野田	347	18%	135	58	699	22%	272	55
下関	554	29%	206	72	552	17%	205	48
長門	49	3%	137	58	77	2%	217	49
萩	30	2%	56	43	96	3%	182	45
出典	平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月			

資_図表 35-20 在宅医療施設数（在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション）

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,679		0.9	(0.5)	1,120		0.1	(0.1)	9,602		0.6	(0.2)
山口県	153	1.0%	0.7	45	16	1.4%	0.1	50	125	1.3%	0.5	48
岩国	6	4%	0.2	36	1	6%	0.0	46	7	6%	0.3	33
柳井	14	9%	0.8	48	0	0%	0	39	8	6%	0.4	43
周南	16	10%	0.4	40	5	31%	0.1	61	15	12%	0.4	41
山口・防府	26	17%	0.6	44	3	19%	0.1	50	34	27%	0.8	61
宇部・小野田	45	29%	1.1	55	5	31%	0.1	59	31	25%	0.8	60
下関	36	24%	0.8	48	1	6%	0.0	43	23	18%	0.5	46
長門	5	3%	0.7	45	0	0%	0	39	4	3%	0.5	47
萩	5	3%	0.4	40	1	6%	0.1	52	3	2%	0.3	32
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成28年5月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成28年5月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成28年5月			

35. 山口県 (2016年版)

資_図表 35-21 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護保険施設定員(病床)数				高齢者住宅定員数			
					全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	1,633,619		99	(17)	983,880		60	(13)	649,739		39	(15)
山口県	22,331	1.4%	98	49	14,505	1.5%	63	53	7,826	1.2%	34	46
岩国	2,617	12%	105	53	1,398	10%	56	47	1,219	16%	49	56
柳井	1,936	9%	108	56	1,540	11%	86	71	396	5%	22	38
周南	3,368	15%	92	46	2,258	16%	62	52	1,110	14%	30	44
山口・防府	4,442	20%	102	52	2,806	19%	64	54	1,636	21%	38	49
宇部・小野田	4,318	19%	106	54	2,442	17%	60	50	1,876	24%	46	55
下関	3,942	18%	86	42	2,709	19%	59	50	1,233	16%	27	42
長門	692	3%	91	45	520	4%	68	57	172	2%	23	39
萩	1,016	5%	86	42	832	6%	70	58	184	2%	15	34
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資_図表 35-22 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数				介護療養病床数			
					全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	361,993		22	(5.7)	554,289		34	(10.0)	67,598		4.1	(4.1)
山口県	4,874	1.3%	21	49	7,462	1.3%	33	49	2,169	3.2%	9.5	63
岩国	460	9%	18	44	860	12%	35	51	78	4%	3.1	48
柳井	500	10%	28	61	596	8%	33	50	444	20%	24.9	100
周南	852	17%	23	52	1,170	16%	32	48	236	11%	6.5	56
山口・防府	1,136	23%	26	57	1,377	18%	32	48	293	14%	6.7	56
宇部・小野田	790	16%	19	46	1,267	17%	31	48	385	18%	9.5	63
下関	786	16%	17	42	1,352	18%	30	46	571	26%	12.5	70
長門	180	4%	24	53	340	5%	45	61	0	0%	0	40
萩	170	3%	14	37	500	7%	42	58	162	7%	13.6	73
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 35-23 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国	75歳以上	偏差値 *全国は 標準偏差	軽費 ホーム	全国	75歳以上	偏差値 *全国は 標準偏差	グループ ホーム	全国	75歳以上	偏差値 *全国は 標準偏差
		シェア	1,000人 当り			シェア	1,000人 当り			シェア	1,000人 当り	
全国	223,346		13.6	(10.3)	22,728		1.4	(2.1)	191,184		11.6	(5.6)
山口県	1,247	0.6%	5.5	42	630	2.8%	2.8	57	2,499	1.3%	10.9	49
岩国	353	28%	14.2	51	160	25%	6.4	74	369	15%	14.8	56
柳井	30	2%	1.7	38	50	8%	2.8	57	198	8%	11.1	49
周南	101	8%	2.8	39	170	27%	4.7	66	476	19%	13.0	53
山口・防府	227	18%	5.2	42	50	8%	1.1	49	484	19%	11.1	49
宇部・小野田	302	24%	7.4	44	150	24%	3.7	61	468	19%	11.5	50
下関	234	19%	5.1	42	0	0%	0	43	351	14%	7.7	43
長門	0	0%	0	37	0	0%	0	43	63	3%	8.3	44
萩	0	0%	0	37	50	8%	4.2	64	90	4%	7.6	43
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 35-24 サービス付き高齢者専用賃貸住宅（サ高住）定員数

二次医療圏	サ高住 (全施設)	全国	75歳以上	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (特定 施設)	全国	75歳以上	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (非特定 施設)	全国	75歳以上	偏差値 *全国は 標準偏差
		シェア	1,000人 当り			シェア	1,000人 当り			シェア	1,000人 当り	
全国	212,481		12.9	(6.7)	13,027		0.8	(1.6)	199,454		12.1	(6.3)
山口県	3,450	1.6%	15.1	53	148	1.1%	0.6	49	3,302	1.7%	14.5	54
岩国	337	10%	13.5	51	58	39%	2.3	60	279	8%	11.2	49
柳井	118	3%	6.6	41	0	0%	0	45	118	4%	6.6	41
周南	363	11%	9.9	46	0	0%	0	45	363	11%	9.9	47
山口・防府	875	25%	20.1	61	0	0%	0	45	875	26%	20.1	63
宇部・小野田	956	28%	23.6	66	40	27%	1.0	51	916	28%	22.6	67
下関	648	19%	14.2	52	0	0%	0	45	648	20%	14.2	53
長門	109	3%	14.4	52	50	34%	6.6	86	59	2%	7.8	43
萩	44	1%	3.7	36	0	0%	0	45	44	1%	3.7	37
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計				平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの				平成28年4月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの			

35. 山口県（2016年版）

資_図表 35-25 介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サービス従事看護師数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (施設)	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (訪問)	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	160,468		9.7	(2.4)	118,281		7.2	(2.2)	42,186		2.6	(0.8)
山口県	2,539	1.6%	11.1	56	2,020	1.7%	8.8	58	519	1.2%	2.3	47
岩国	201	8%	8.1	43	178	9%	7.2	50	23	4%	0.9	31
柳井	357	14%	20.0	93	321	16%	18.0	100	36	7%	2.0	44
周南	385	15%	10.5	53	309	15%	8.5	56	76	15%	2.1	44
山口・防府	463	18%	10.6	54	320	16%	7.4	51	143	27%	3.3	58
宇部・小野田	462	18%	11.4	57	336	17%	8.3	55	126	24%	3.1	56
下関	499	20%	10.9	55	409	20%	9.0	58	90	17%	2.0	43
長門	60	2%	7.8	42	43	2%	5.7	43	16	3%	2.2	45
萩	113	4%	9.5	49	103	5%	8.7	57	10	2%	0.8	29
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 35-26 介護サービス従事介護職員数（介護施設等、在宅介護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サービス従事介護職員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員数 (介護施設等)	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員数 (在宅)	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,482,791		90	(12.3)	1,259,191		77	(11.5)	223,600		13.6	(5.5)
山口県	20,677	1.4%	90	50	18,137	1.4%	79	52	2,541	1.1%	11.1	46
岩国	2,292	11%	92	52	2,063	11%	83	55	229	9%	9.2	42
柳井	1,616	8%	91	50	1,451	8%	81	54	165	6%	9.2	42
周南	3,375	16%	92	52	2,958	16%	81	54	418	16%	11.4	46
山口・防府	4,179	20%	96	55	3,619	20%	83	56	560	22%	12.9	49
宇部・小野田	3,685	18%	91	51	3,250	18%	80	53	435	17%	10.7	45
下関	3,999	19%	88	48	3,409	19%	75	49	590	23%	12.9	49
長門	599	3%	79	41	534	3%	70	45	66	3%	8.7	41
萩	931	5%	78	40	853	5%	72	46	78	3%	6.5	37
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 35-27 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,072,285		65	(31)	412,167		25	(11)	1,493,642		91	(31)
山口県	9,984	0.9%	44	43	3,971	1.0%	17	43	17,486	1.2%	77	45
岩国	765	8%	31	39	120	3%	5	31	1,650	9%	66	42
柳井	565	6%	32	39	280	7%	16	41	1,125	6%	63	41
周南	1,146	11%	31	39	593	15%	16	42	2,731	16%	75	45
山口・防府	2,726	27%	63	49	1,491	38%	34	59	3,645	21%	84	48
宇部・小野田	1,930	19%	48	44	684	17%	17	42	3,007	17%	74	45
下関	2,448	25%	54	46	599	15%	13	39	4,241	24%	93	51
長門	50	1%	7	31	128	3%	17	42	539	3%	71	44
萩	354	4%	30	38	76	2%	6	33	548	3%	46	36
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 35-28 総人口の推移と医療需要の増減

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移 (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年 (推計)	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 2015医療 点数増減 率	2015→ 2025医療 点数増減 率	2005→ 2025医療 点数増減 率
全国		127,767,994	126,660,501	-1%	120,699,960	-6%	13%	5%	18%
山口県		1,492,606	1,398,700	-6%	1,275,187	-15%	6%	-1%	5%
岩国	過疎地域型	156,143	143,519	-8%	128,851	-17%	5%	-3%	2%
柳井	地方都市型	91,515	81,308	-11%	70,455	-23%	-1%	-7%	-8%
周南	地方都市型	259,867	251,654	-3%	234,369	-10%	11%	2%	13%
山口・防府	地方都市型	316,115	308,058	-3%	291,887	-8%	9%	3%	12%
宇部・小野田	地方都市型	275,055	257,035	-7%	234,351	-15%	6%	0%	6%
下関	地方都市型	290,693	268,855	-8%	241,519	-17%	6%	-2%	4%
長門	過疎地域型	41,127	35,458	-14%	29,893	-27%	-2%	-7%	-9%
萩	過疎地域型	62,091	52,813	-15%	43,862	-29%	-2%	-8%	-10%
出典	<人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口,年齢(3区分)・割合,就業者数,昼間人口など) <人口(2015年、2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月								

35. 山口県（2016年版）

資_図表 35-29 病院数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,493	6.7	(4.1)	-584	-6%	7,882
山口県	151	10.1	58	147	10.5	59	-4	-3%	143
岩国	17	10.9	60	17	11.8	62	0	0%	17
柳井	10	10.9	60	9	11.1	61	-1	-10%	8
周南	22	8.5	54	24	9.5	57	2	9%	26
山口・防府	27	8.5	54	27	8.8	55	0	0%	27
宇部・小野田	31	11.3	61	30	11.7	62	-1	-3%	29
下関	31	10.7	59	27	10.0	58	-4	-13%	23
長門	6	14.6	69	6	16.9	75	0	0%	6
萩	7	11.3	61	7	13.3	66	0	0%	7
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 35-30 診療所数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	97,051	76	(20)	100,461	79	(19)	3,410	4%	104,229
山口県	1,326	89	56	1,274	91	56	-52	-4%	1,218
岩国	144	92	58	129	90	55	-15	-10%	113
柳井	78	85	55	72	89	55	-6	-8%	65
周南	228	88	56	218	87	54	-10	-4%	207
山口・防府	265	84	54	255	83	52	-10	-4%	244
宇部・小野田	250	91	57	246	96	58	-4	-2%	242
下関	273	94	59	273	102	61	0	0%	273
長門	29	71	47	27	76	48	-2	-7%	25
萩	59	95	60	54	102	62	-5	-8%	49
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 35-31 医師数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	270,371	212	(84)	311,205	246	(98)	40,834	15%	356,135
山口県	3,578	240	53	3,619	259	51	41	1%	3,663
岩国	301	193	48	322	224	48	21	7%	345
柳井	194	212	50	175	215	47	-19	-10%	154
周南	466	179	46	518	206	46	52	11%	575
山口・防府	694	220	51	712	231	49	18	3%	732
宇部・小野田	1,083	394	72	1,035	403	66	-48	-4%	982
下関	660	227	52	704	262	52	44	7%	752
長門	72	175	46	62	175	43	-10	-14%	51
萩	108	174	46	91	172	43	-17	-16%	72
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2014年>平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月								

資_図表 35-32 総病床数(精神科を含む)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	1,812,554	142	(56)	1,680,625	133	(57)	-131,929	-7%	1,535,514
山口県	31,462	211	62	29,132	208	63	-2,330	-7%	26,569
岩国	2,604	167	54	2,499	174	57	-105	-4%	2,384
柳井	2,839	310	80	2,613	321	83	-226	-8%	2,364
周南	4,399	169	55	4,005	159	55	-394	-9%	3,572
山口・防府	5,578	176	56	5,200	169	56	-378	-7%	4,784
宇部・小野田	7,049	256	70	6,399	249	71	-650	-9%	5,684
下関	6,719	231	66	6,323	235	68	-396	-6%	5,887
長門	1,052	256	70	987	278	76	-65	-6%	916
萩	1,222	197	60	1,106	209	64	-116	-9%	978
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

35. 山口県 (2016年版)

資_図表 35-33 一般病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	人口 1万 当り
全国	1,068,821	84	(28)	995,170	79	(27)	-73,651	-7%	914,162	76
山口県	14,289	96	54	13,051	93	55	-1,238	-9%	11,689	92
岩国	1,284	82	49	1,204	84	52	-80	-6%	1,116	87
柳井	1,001	109	59	993	122	66	-8	-1%	984	140
周南	2,452	94	54	1,985	79	50	-467	-19%	1,471	63
山口・防府	2,585	82	49	2,530	82	51	-55	-2%	2,470	85
宇部・小野田	3,120	113	61	2,787	108	61	-333	-11%	2,421	103
下関	2,909	100	56	2,753	102	59	-156	-5%	2,581	107
長門	460	112	60	418	118	64	-42	-9%	372	124
萩	478	77	48	381	72	48	-97	-20%	274	62
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

資_図表 35-34 療養病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	75歳以上 1,000人 当り
全国	373,823	32	(18)	339,554	21	(12)	-34,269	-9%	301,883	14
山口県	10,669	59	65	9,922	43	70	-747	-7%	9,102	33
岩国	745	38	54	770	31	59	25	3%	798	27
柳井	1,160	71	72	1,060	59	83	-100	-9%	950	49
周南	1,304	47	58	1,399	38	65	95	7%	1,504	31
山口・防府	1,759	52	61	1,485	34	62	-274	-16%	1,184	21
宇部・小野田	2,240	69	71	2,013	50	75	-227	-10%	1,763	35
下関	2,663	76	75	2,424	53	78	-239	-9%	2,161	40
長門	266	40	55	243	32	60	-23	-9%	218	27
萩	532	53	62	528	44	71	-4	-1%	524	42
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

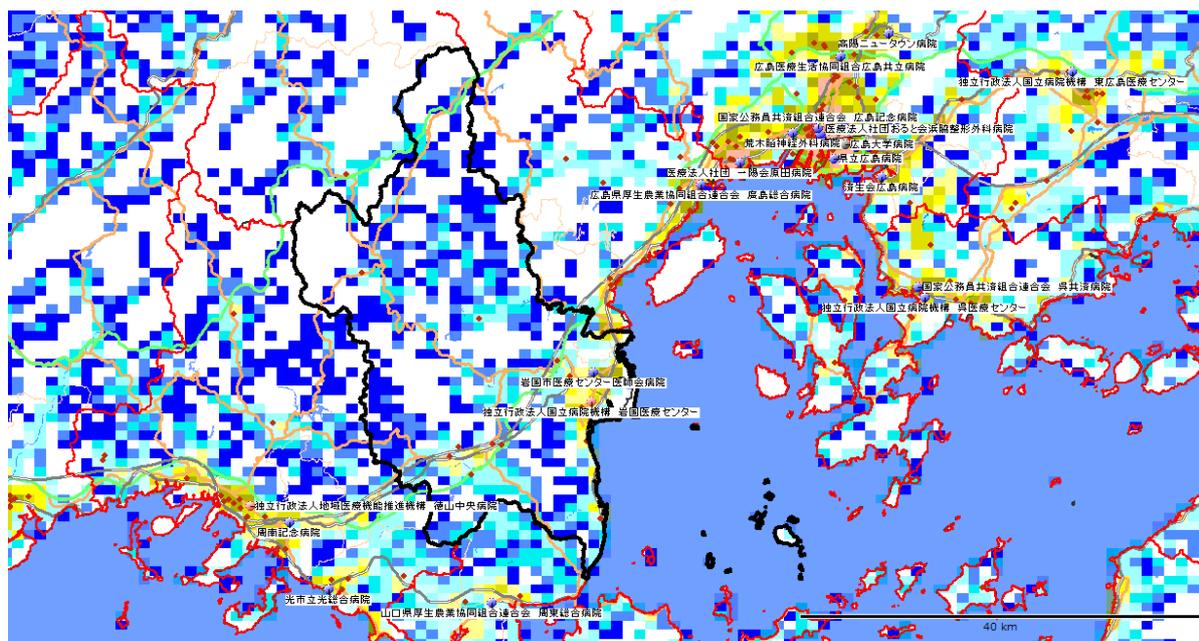
資_図表 35-35【補足】 市町村国民健康保険 診療種別、1人当たり実績医療費⁹

二次医療圏	医療費総計 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数
全国	327	(42)	1.000	126	(29)	1.000	177	(17)	1.000
山口県	406	68	1.139	175	67	1.287	205	66	1.056
岩国	399	67	1.111	167	64	1.205	206	67	1.056
柳井	422	72	1.137	199	75	1.392	198	62	0.987
周南	377	62	1.033	153	59	1.085	199	63	1.006
山口・防府	395	66	1.107	168	65	1.226	201	64	1.040
宇部・小野田	430	74	1.187	186	71	1.333	218	74	1.111
下関	419	72	1.167	189	72	1.369	205	66	1.051
長門	418	72	1.119	183	70	1.262	212	70	1.047
萩	398	67	1.084	171	65	1.202	201	64	1.011
出典	平成26年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

35-1. いわくに 岩国医療圏

構成市区町村¹⁰ [岩国市](#) [和木町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

(岩国医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 岩国(岩国市)は、総人口約144千人(2015年推計)、面積884km²、人口密度は162人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 岩国の総人口は2025年に129千人へと減少し(2015年比-10%)、2040年に106千人へと減少する(2025年比-18%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の25千人が、2025年にかけて29千人へと増加し(2015年比+16%)、2040年には26千人へと減少する(2025年比-10%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 岩国の一人当たり医療費(国保)は388千円(偏差値67)、介護給付費は263千円(偏差値53)であり、医療費は非常に高く、介護給付費はやや高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 岩国の一人当たり急性期医療密度指数²は1.19、一人当たり慢性期医療密度指数²は5.84で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

***医師・看護師の現状：** 総医師数³の偏差値が46(病院医師数46、診療所医師数47)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は56と多い。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は52で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は51と全国平均レベルである。岩国には、年間全身麻酔件数が2000例以上の国立病院機構岩国医療センター(Ⅱ群・救命)がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は63と療養病床数は多い。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値51と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値52と全国平均レベルである。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は55で精神病床数はやや多い。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は55で診療所数はやや多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 岩国の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2617人(75歳以上1000人当たりの偏差値53)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1398床(偏差値47)、高齢者住宅等が1219床(偏差値56)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2063人(75歳以上1000人当たりの偏差値55)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設44、特別養護老人ホーム51、介護療養型医療施設48、有料老人ホーム51、軽費ホーム74、グループホーム56、サ高住51である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値36と少なく、在宅療養支援病院は偏差値46とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値33と非常に少ない。介護職員(在宅)の合計は、229人(75歳以上1000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

***介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数⁴は+10%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰さみである。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

岩国医療圏の総人口は、2005年156143人が、2015年に143519人と8%減少し、2025年の人口が128851人と予測され、2005年→2025年の間に17%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に5%増加し、2015年から2025年にかけて3%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

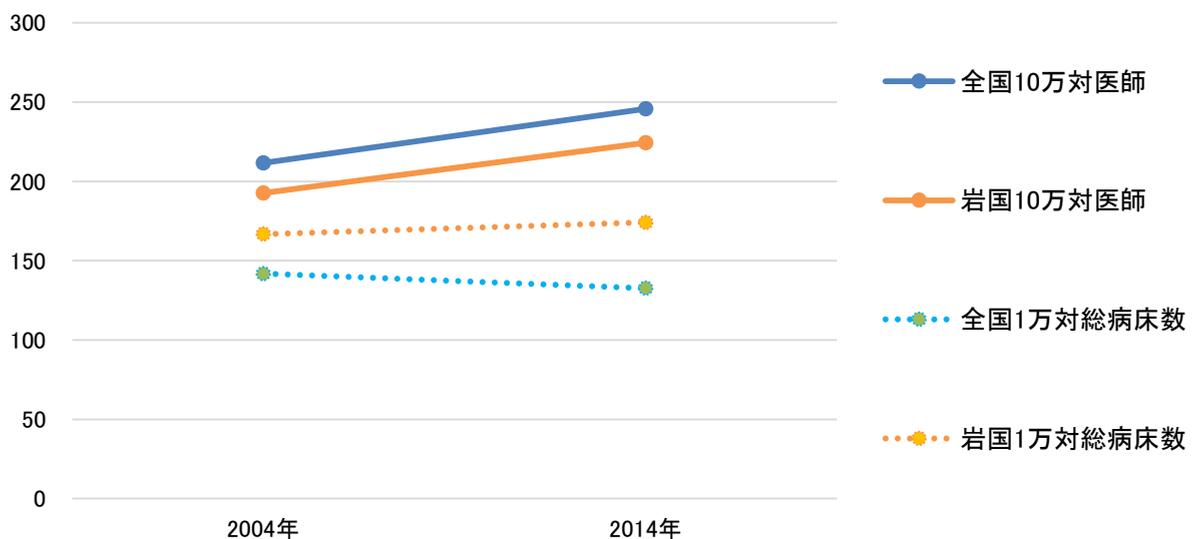
2004年の病院数が17(人口10万人当たり10.9病院(全国平均7.1)偏差値60)であったが、2014年に17(人口10万人当たり11.8病院(全国平均6.7)偏差値62)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が144(人口10万人当たり92診療所(全国平均76)偏差値58)であったが、2014年に129(人口10万人当たり90診療所(全国平均79)偏差値55)と、15診療所が減少した。

2004年の総病床数が2604床(人口1万人当たり167(全国平均142)偏差値54)であったが、2014年に2499床(人口1万人当たり174(全国平均133)偏差値57)と、105床の減少、率にして4%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

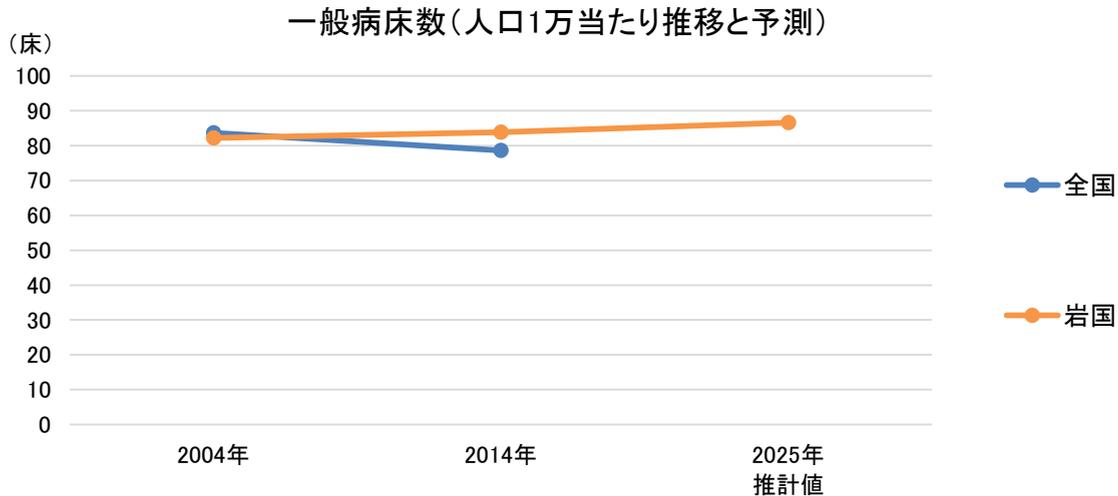
2004年には病院と診療所合わせての医師数³が301人(人口10万人当たり193人(全国平均212人)偏差値48)であったが、2014年に322人(人口10万人当たり224人(全国平均246人)偏差値48)と、21人の増加、率にして7%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



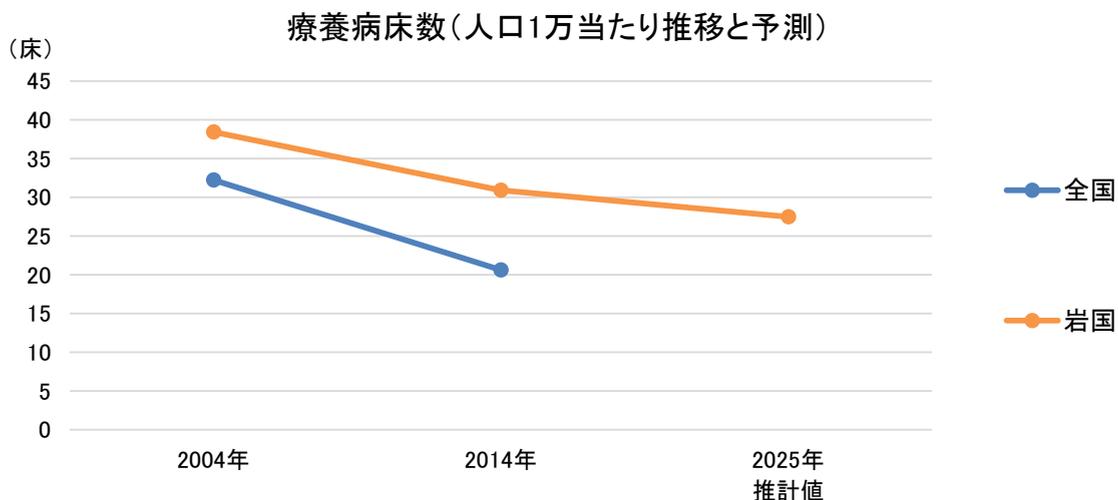
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1284床(人口1万人当たり82(全国平均84)偏差値49)であったが、2014年に1204床(人口1万人当たり84(全国平均79)偏差値52)と、80床の減少、率にして6%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1116床(2025年の推計人口1万人当たり87)になることが予想される。



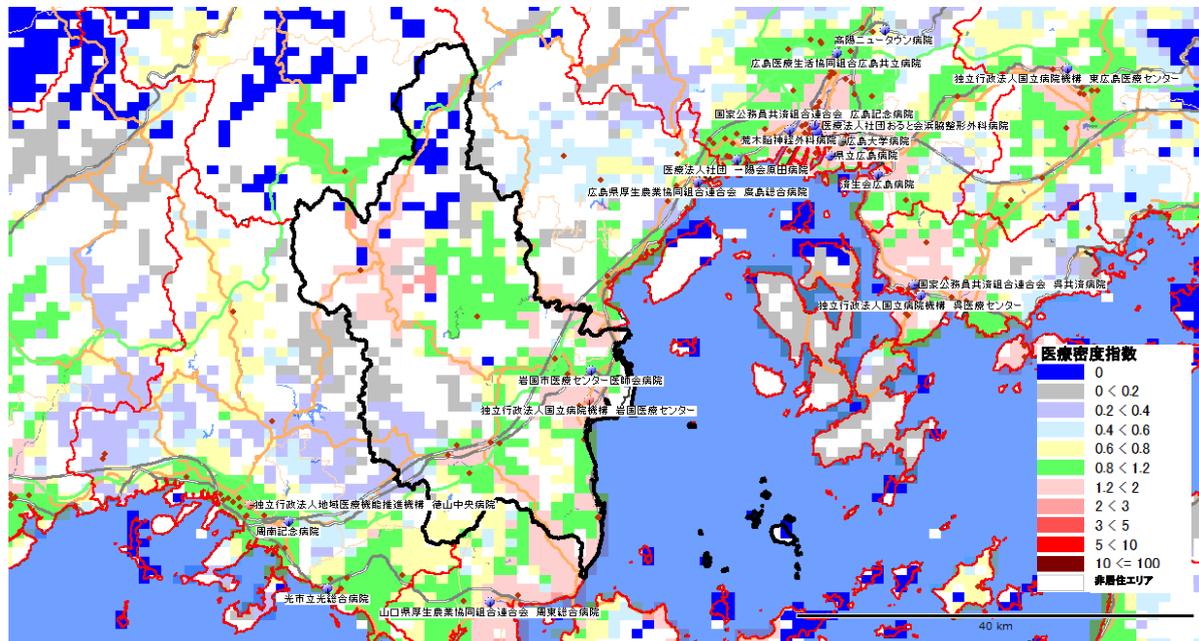
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が745床(75歳以上1000人当たり38(全国平均32)偏差値54)であったが、2014年に770床(75歳以上1000人当たり31(全国平均21)偏差値59)と、25床の増加、率にして3%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には798床(2025年の推計75歳以上1000人当たり27)になることが予想される。

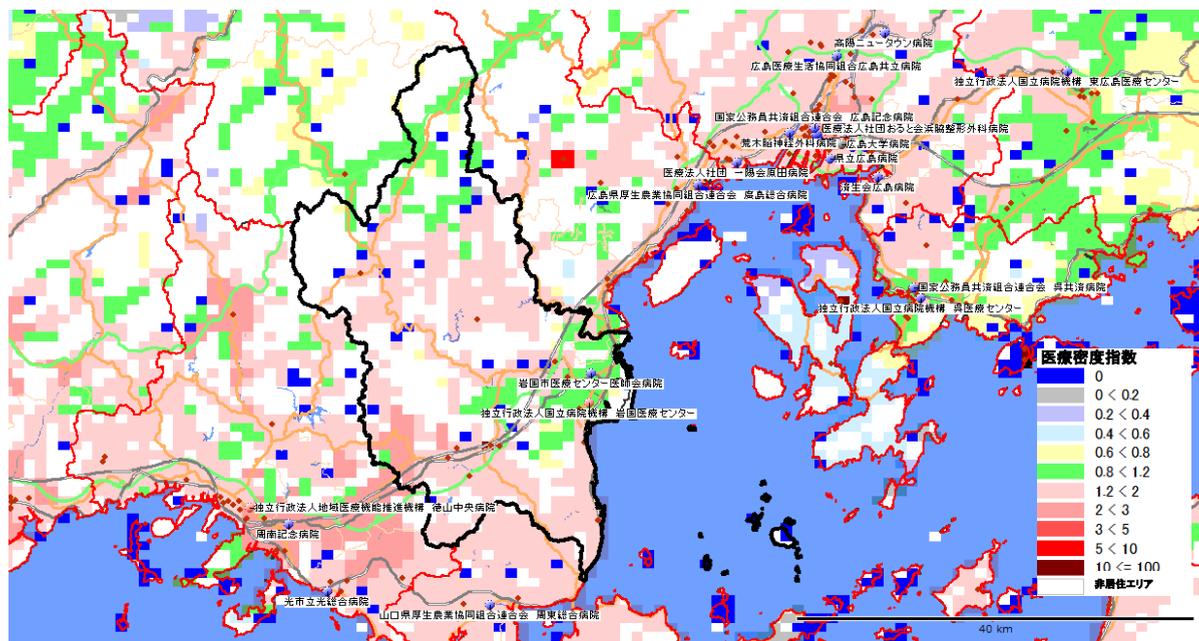


3. 医療密度⁵

図表35-1-1 急性期医療密度指数マップ



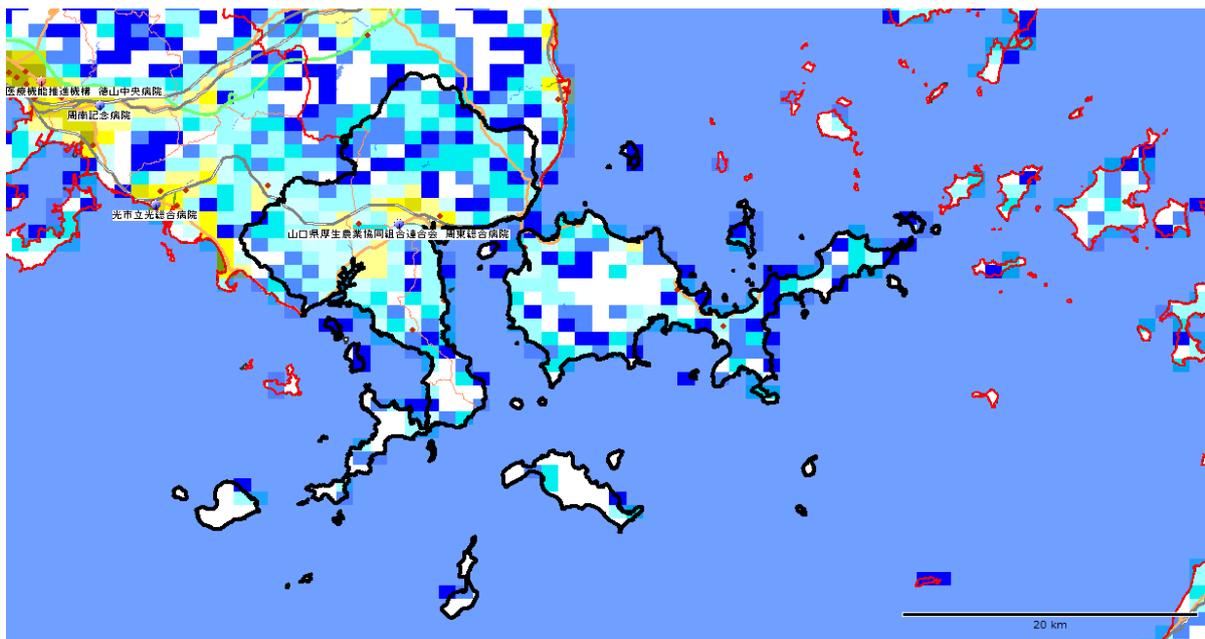
図表35-1-2 慢性期医療密度指数マップ



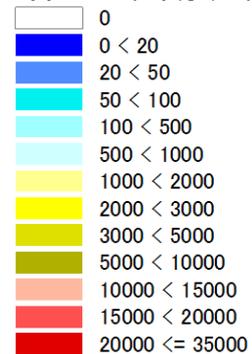
35-2. やない 柳井医療圏

構成市区町村¹⁰ [柳井市](#) [周防大島町](#) [上関町](#) [田布施町](#)
[平生町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群
一般病院

（柳井医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

【地域の概要】

***人口、面積など：** 柳井(柳井市)は、総人口約81千人(2015年推計)、面積398km²、人口密度は204人/km²の地方都市型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 柳井の総人口は2025年に70千人へと減少し(2015年比-14%)、2040年に55千人へと減少する(2025年比-21%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の18千人が、2025年にかけて20千人へと増加し(2015年比+11%)、2040年には16千人へと減少する(2025年比-20%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 柳井の一人当たり医療費(国保)は412千円(偏差値72)、介護給付費は268千円(偏差値54)であり、医療費は非常に高く、介護給付費はやや高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 柳井の一人当たり急性期医療密度指数²は1.15、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.46で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は充実している。

***医師・看護師の現状：** 総医師数³の偏差値が46(病院医師数47、診療所医師数45)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は71と非常に多い。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は66で、一般病床は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は48と全国平均レベルである。柳井には、年間全身麻酔件数が500例以上の周東総合病院(Ⅲ群)がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は99と療養病床数は非常に多い。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値50と全国平均レベルであり、回復期病床数は0である。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は69で精神病床数は非常に多い。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は55で診療所数はやや多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 柳井の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1936人(75歳以上1000人当たりの偏差値56)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1540床(偏差値71)、高齢者住宅等が396床(偏差値38)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1451人(75歳以上1000人当たりの偏差値54)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設61、特別養護老人ホーム50、介護療養型医療施設100、有料老人ホーム38、軽費ホーム57、グループホーム49、サ高住41である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値48と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値43と少ない。介護職員(在宅)の合計は、165人(75歳以上1000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

***介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数⁴は+27%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

柳井医療圏の総人口は、2005年91515人が、2015年に81308人と11%減少し、2025年の人口が70455人と予測され、2005年→2025年の間に23%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に1%減少し、2015年から2025年にかけて7%程度の減少が予測される。

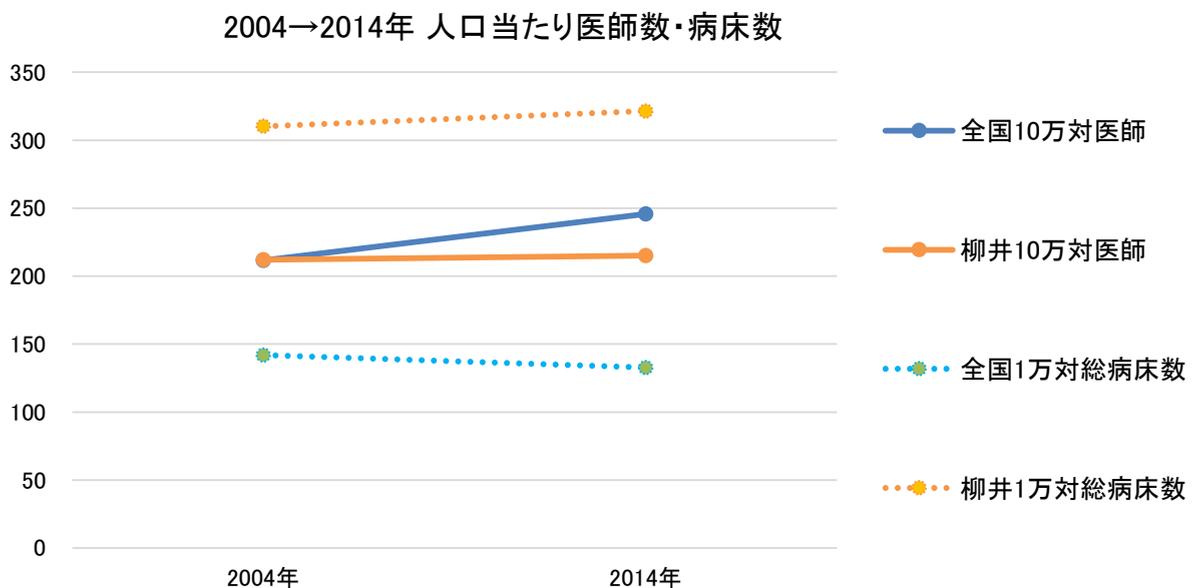
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が10(人口10万人当たり10.9病院(全国平均7.1)偏差値60)であったが、2014年に9(人口10万人当たり11.1病院(全国平均6.7)偏差値61)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が78(人口10万人当たり85診療所(全国平均76)偏差値55)であったが、2014年に72(人口10万人当たり89診療所(全国平均79)偏差値55)と、6診療所が減少した。

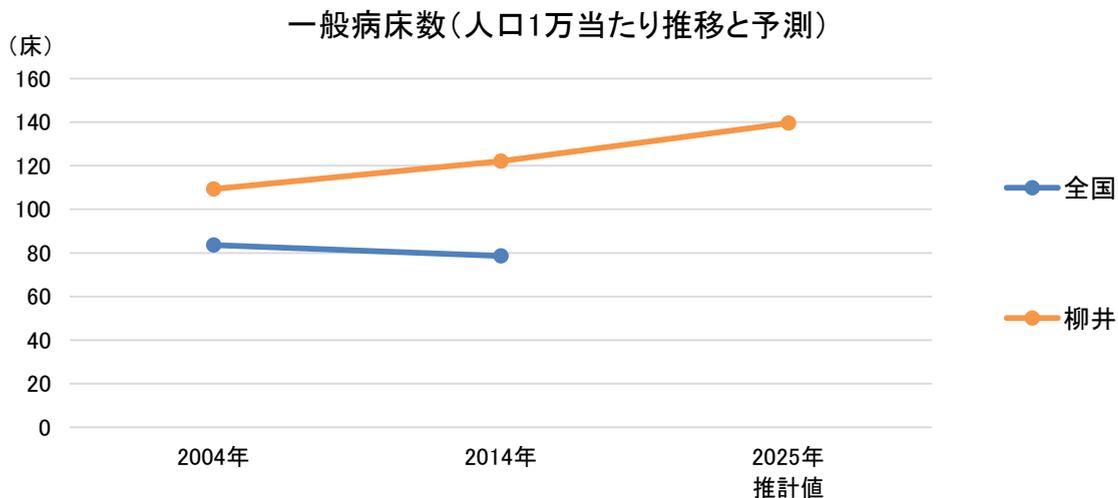
2004年の総病床数が2839床(人口1万人当たり310(全国平均142)偏差値80)であったが、2014年に2613床(人口1万人当たり321(全国平均133)偏差値83)と、226床の減少、率にして8%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数³が194人(人口10万人当たり212人(全国平均212人)偏差値50)であったが、2014年に175人(人口10万人当たり215人(全国平均246人)偏差値47)と、19人の減少、率にして10%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



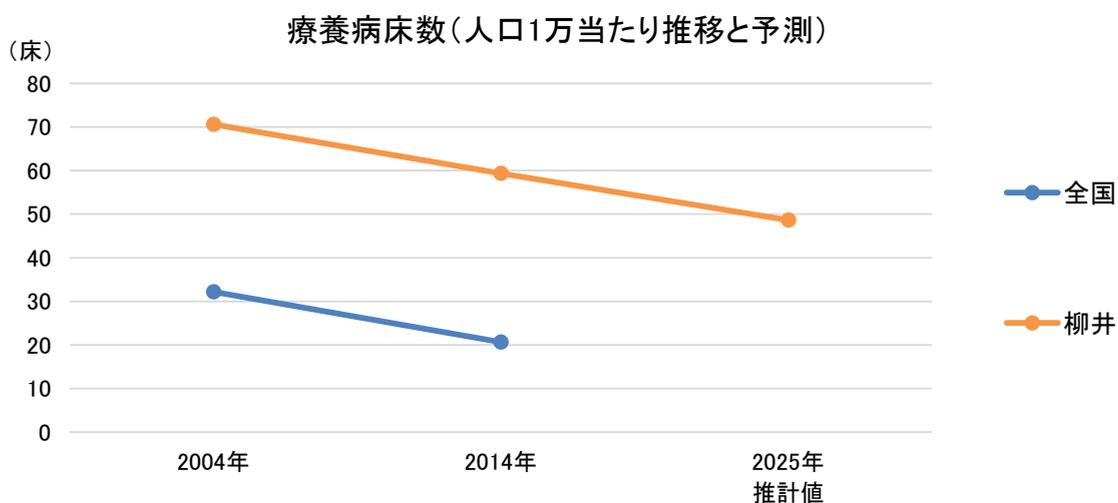
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1001床(人口1万人当たり109(全国平均84)偏差値59)であったが、2014年に993床(人口1万人当たり122(全国平均79)偏差値66)と、8床の減少、率にして1%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には984床(2025年の推計人口1万人当たり140)になることが予想される。



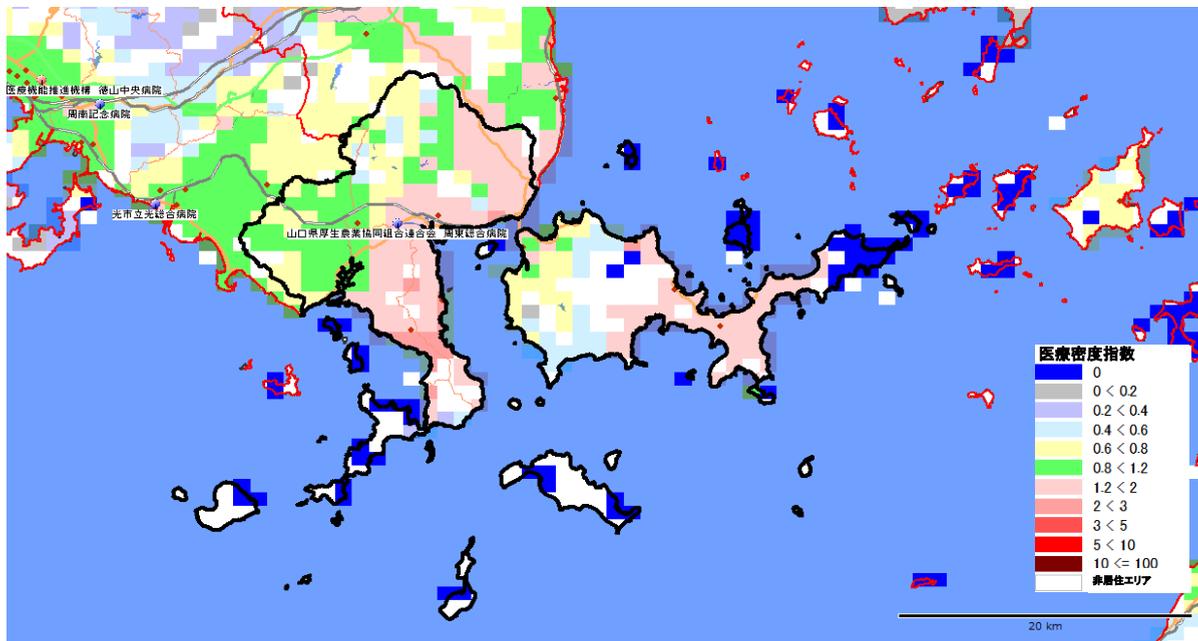
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1160床(75歳以上1000人当たり71(全国平均32)偏差値72)であったが、2014年に1060床(75歳以上1000人当たり59(全国平均21)偏差値83)と、100床の減少、率にして9%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には950床(2025年の推計75歳以上1000人当たり49)になることが予想される。

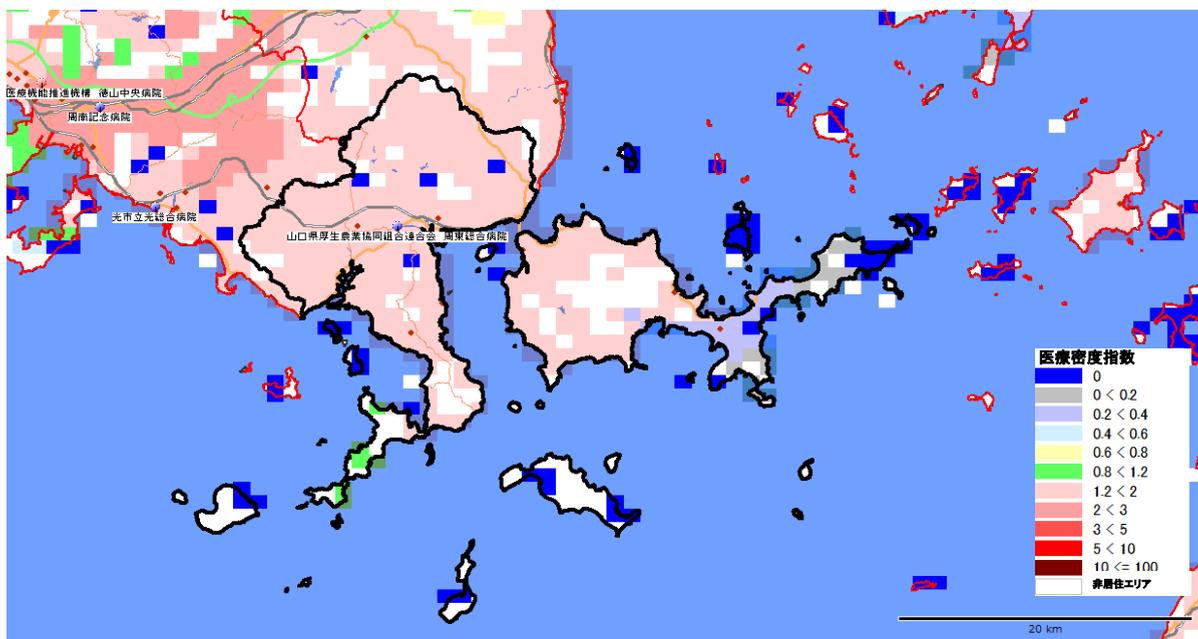


3. 医療密度⁵

図表35-2-1 急性期医療密度指数マップ



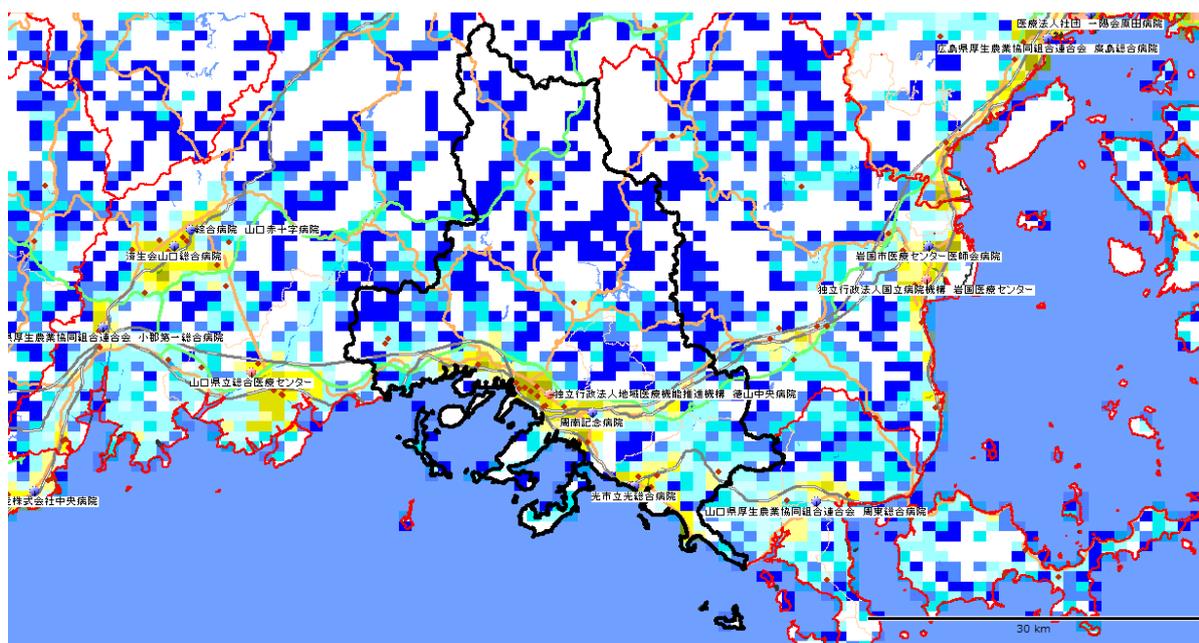
図表35-2-2 慢性期医療密度指数マップ



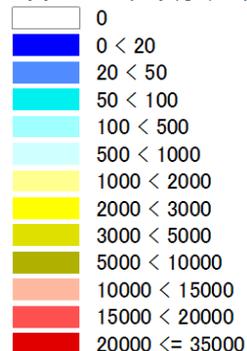
35-3. しゅうなん 周南医療圏

構成市区町村¹⁰ [下松市](#) [光市](#) [周南市](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

(周南医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 周南(下松市)は、総人口約252千人(2015年推計)、面積838km²、人口密度は300人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 周南の総人口は2025年に234千人へと減少し(2015年比-7%)、2040年に202千人へと減少する(2025年比-14%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の37千人が、2025年にかけて49千人へと増加し(2015年比+32%)、2040年には43千人へと減少する(2025年比-12%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 周南の一人当たり医療費(国保)は368千円(偏差値62)、介護給付費は231千円(偏差値44)であり、医療費は高いが、介護給付費は低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 周南の一人当たり急性期医療密度指数²は0.87、一人当たり慢性期医療密度指数²は2.35で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が46(病院医師数44、診療所医師数51)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、病院医師数は少ない。総看護師数の偏差値は54とやや多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は49で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は47とやや少ない。周南には、年間全身麻酔件数が2000例以上のJCHO徳山中央病院(Ⅲ群・救命)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は63と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値61と多く、回復期病床数は偏差値66と非常に多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は49で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は54で診療所数はやや多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 周南の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3368人(75歳以上1000人当たりの偏差値46)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が2258床(偏差値52)、高齢者住宅等が1110床(偏差値44)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2958人(75歳以上1000人当たりの偏差値54)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設52、特別養護老人ホーム48、介護療養型医療施設56、有料老人ホーム39、軽費ホーム66、グループホーム53、サ高住46である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値40と少なく、在宅療養支援病院は偏差値61と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値41と少ない。介護職員(在宅)の合計は、418人(75歳以上1000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数⁴は-20%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

周南医療圏の総人口は、2005年259867人が、2015年に251654人と3%減少し、2025年の人口が234369人と予測され、2005年→2025年の間に10%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に11%増加し、2015年から2025年にかけて2%程度の増加が予測される。

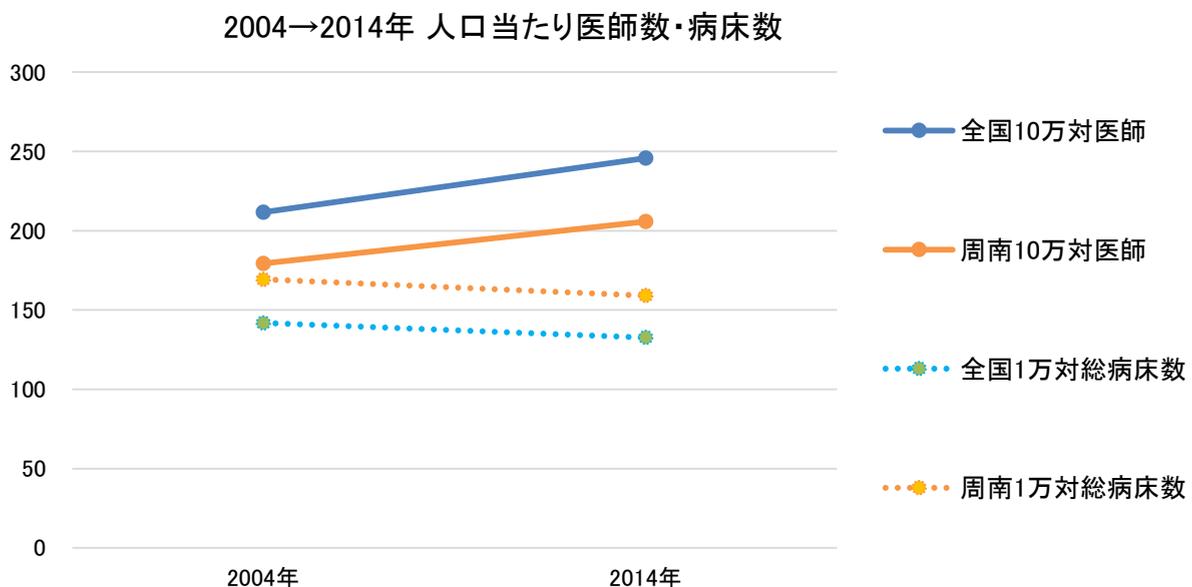
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が22(人口10万人当たり8.5病院(全国平均7.1)偏差値54)であったが、2014年に24(人口10万人当たり9.5病院(全国平均6.7)偏差値57)となり、10年間で2病院が増加した。

2004年の診療所数が228(人口10万人当たり88診療所(全国平均76)偏差値56)であったが、2014年に218(人口10万人当たり87診療所(全国平均79)偏差値54)と、10診療所が減少した。

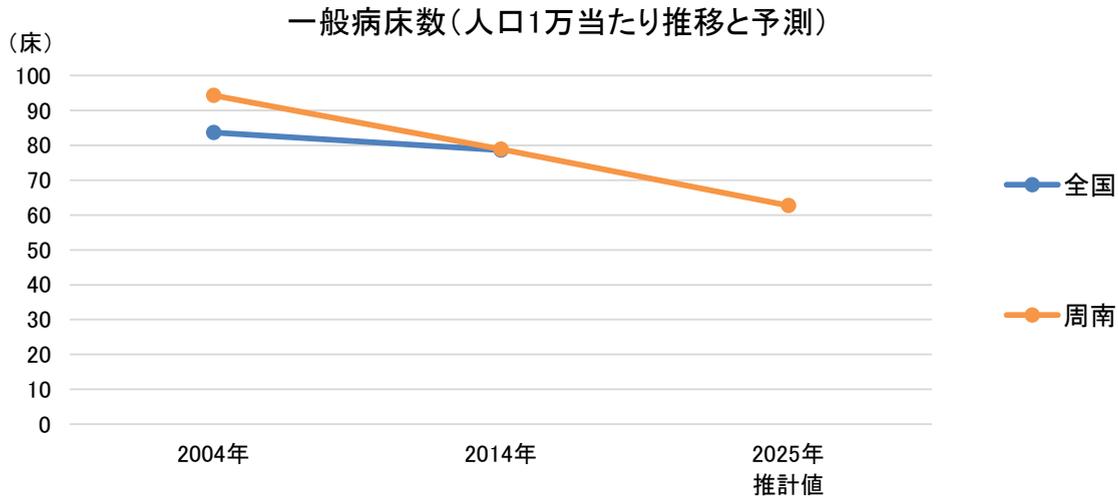
2004年の総病床数が4399床(人口1万人当たり169(全国平均142)偏差値55)であったが、2014年に4005床(人口1万人当たり159(全国平均133)偏差値55)と、394床の減少、率にして9%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数³が466人(人口10万人当たり179人(全国平均212人)偏差値46)であったが、2014年に518人(人口10万人当たり206人(全国平均246人)偏差値46)と、52人の増加、率にして11%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



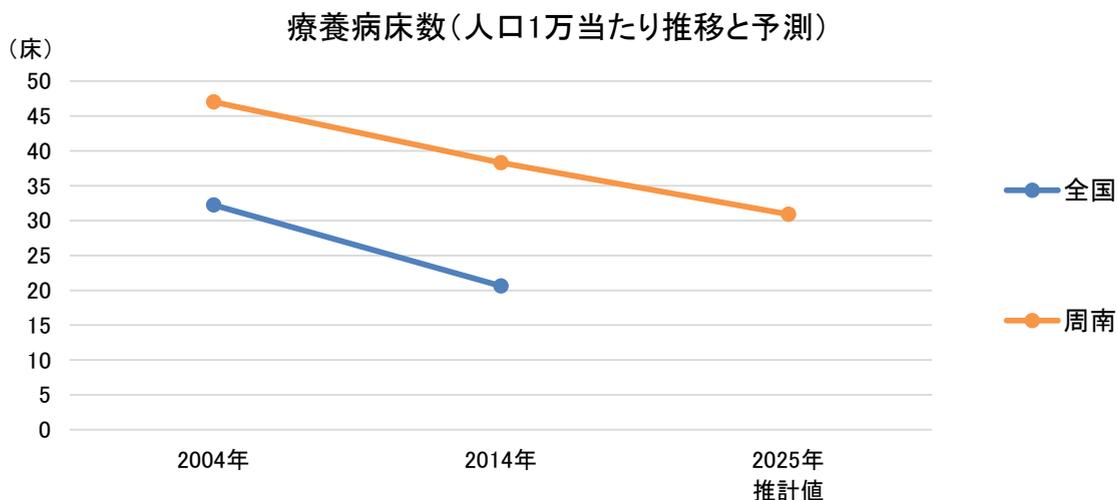
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2452床(人口1万人当たり94(全国平均84)偏差値54)であったが、2014年に1985床(人口1万人当たり79(全国平均79)偏差値50)と、467床の減少、率にして19%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1471床(2025年の推計人口1万人当たり63)になることが予想される。



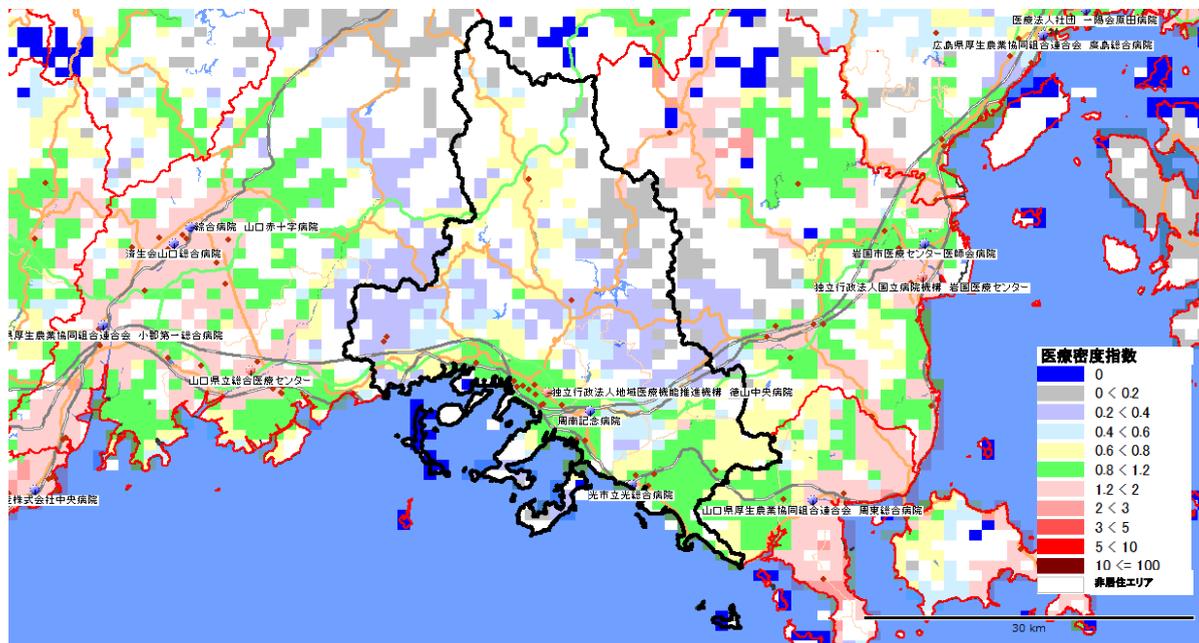
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1304床(75歳以上1000人当たり47(全国平均32)偏差値58)であったが、2014年に1399床(75歳以上1000人当たり38(全国平均21)偏差値65)と、95床の増加、率にして7%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には1504床(2025年の推計75歳以上1000人当たり31)になることが予想される。

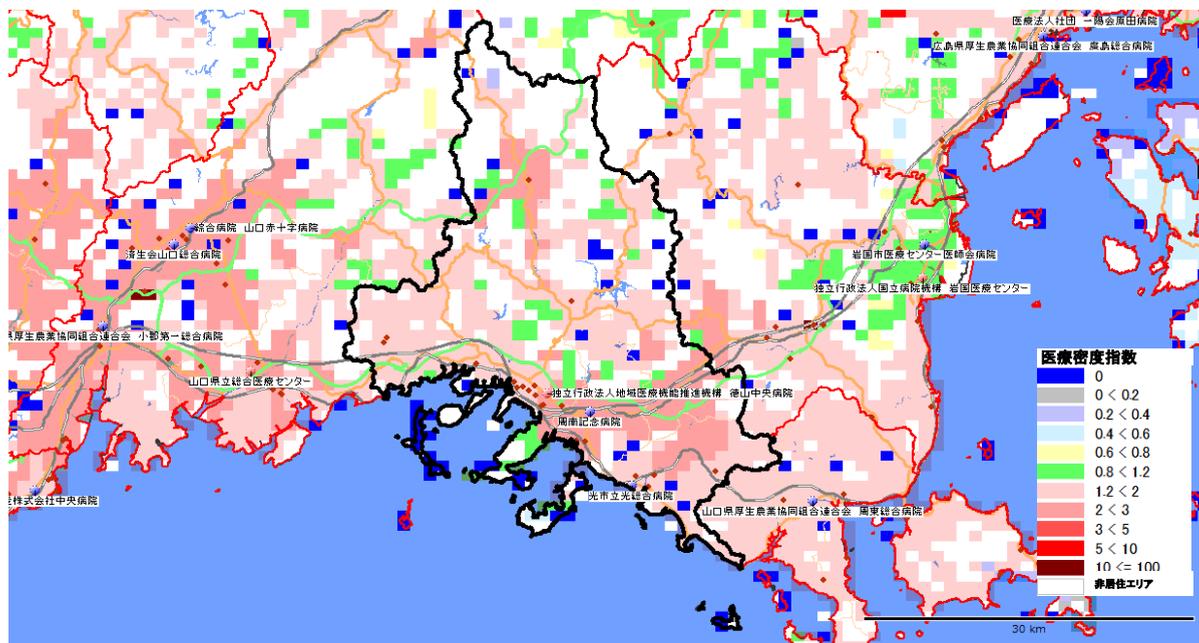


3. 医療密度⁵

図表35-3-1 急性期医療密度指数マップ



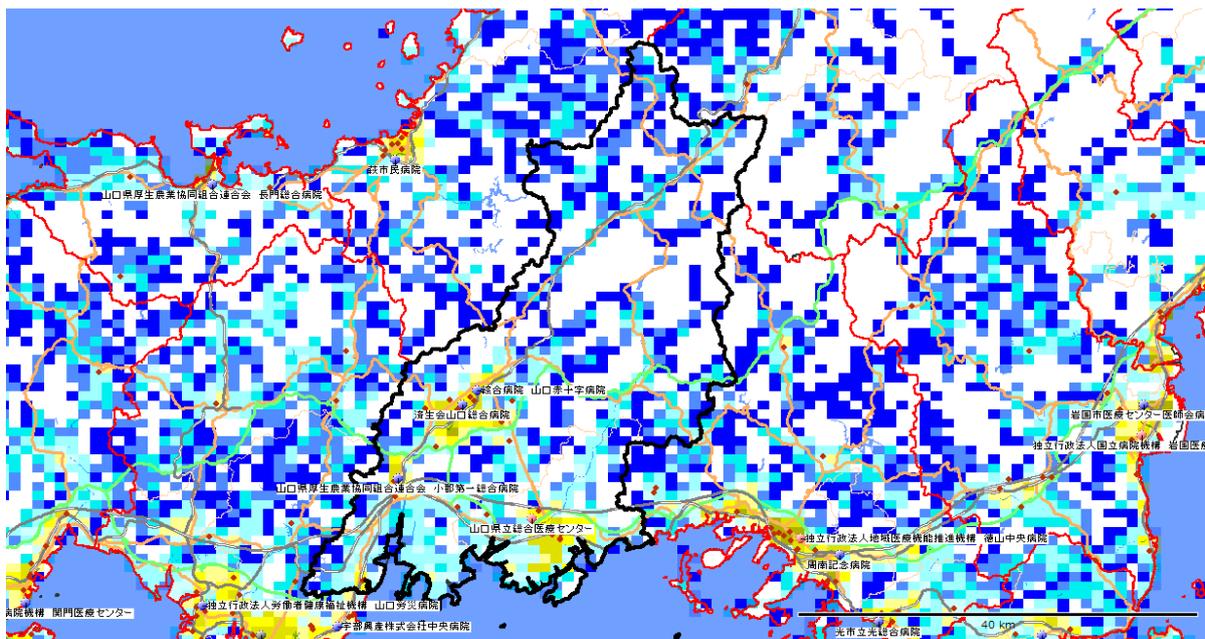
図表35-3-2 慢性期医療密度指数マップ



35-4. やまぐち ほうふ 山口・防府医療圏

構成市区町村¹⁰ [山口市](#) [防府市](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

（山口・防府医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

【地域の概要】

***人口、面積など：** 山口・防府(山口市)は、総人口約308千人(2015年推計)、面積1212km²、人口密度は254人/km²の地方都市型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 山口・防府の総人口は2025年に292千人へと減少し(2015年比-5%)、2040年に260千人へと減少する(2025年比-11%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の44千人が、2025年にかけて56千人へと増加し(2015年比+27%)、2040年には55千人へと減少する(2025年比-2%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 山口・防府の一人当たり医療費(国保)は377千円(偏差値64)、介護給付費は262千円(偏差値52)であり、医療費は高く、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 山口・防府の一人当たり急性期医療密度指数²は1.24、一人当たり慢性期医療密度指数²は2.47で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

***医師・看護師の現状：** 総医師数³の偏差値が48(病院医師数47、診療所医師数50)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにはほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は58と多い。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は50で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は55とやや多い。山口・防府には、年間全身麻酔件数が2000例以上の山口県立総合医療センター(Ⅲ群・救命)、1000例以上の小郡第一総合病院(Ⅲ群)、山口赤十字病院(Ⅲ群)、済生会山口総合病院(Ⅲ群)がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は60と療養病床数は多い。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値52と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値45とやや少ない。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は55で精神病床数はやや多い。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は52で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 山口・防府の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4442人(75歳以上1000人当たりの偏差値52)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が2806床(偏差値54)、高齢者住宅等が1636床(偏差値49)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3619人(75歳以上1000人当たりの偏差値56)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設57、特別養護老人ホーム48、介護療養型医療施設56、有料老人ホーム42、軽費ホーム49、グループホーム49、サ高住61である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値44と少なく、在宅療養支援病院は偏差値50と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値61と多い。介護職員(在宅)の合計は、560人(75歳以上1000人当たりの偏差値49)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

***介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数⁴は-29%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

山口・防府医療圏の総人口は、2005年316115人が、2015年に308058人と3%減少し、2025年の人口が291887人と予測され、2005年→2025年の間に8%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に9%増加し、2015年から2025年にかけて3%程度の増加が予測される。

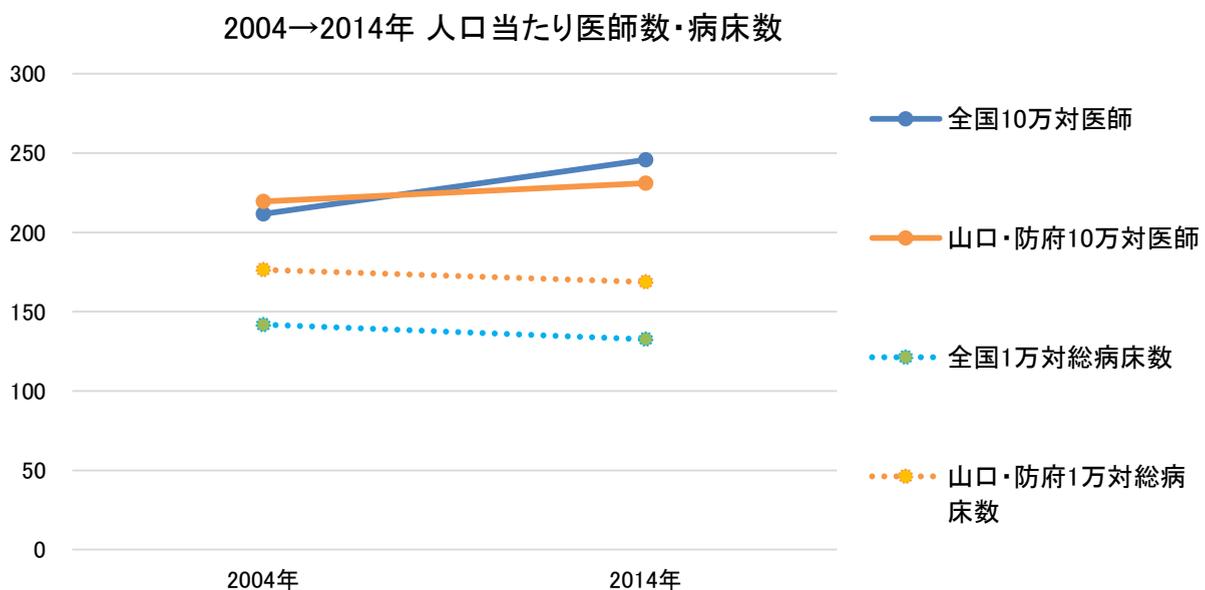
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が27(人口10万人当たり8.5病院(全国平均7.1)偏差値54)であったが、2014年に27(人口10万人当たり8.8病院(全国平均6.7)偏差値55)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が265(人口10万人当たり84診療所(全国平均76)偏差値54)であったが、2014年に255(人口10万人当たり83診療所(全国平均79)偏差値52)と、10診療所が減少した。

2004年の総病床数が5578床(人口1万人当たり176(全国平均142)偏差値56)であったが、2014年に5200床(人口1万人当たり169(全国平均133)偏差値56)と、378床の減少、率にして7%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

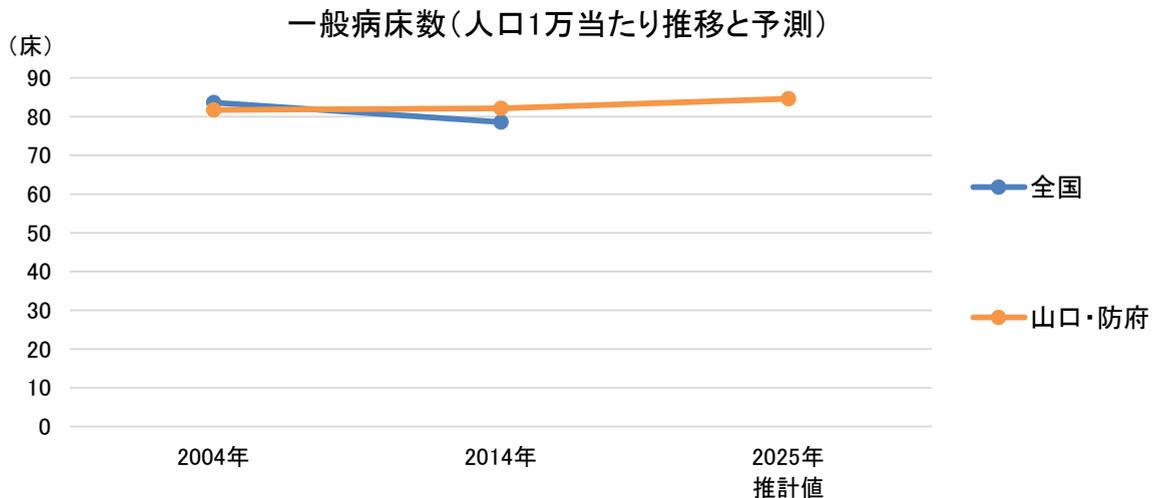
2004年には病院と診療所合わせての医師数³が694人(人口10万人当たり220人(全国平均212人)偏差値51)であったが、2014年に712人(人口10万人当たり231人(全国平均246人)偏差値49)と、18人の増加、率にして3%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



35. 山口県（2016年版）

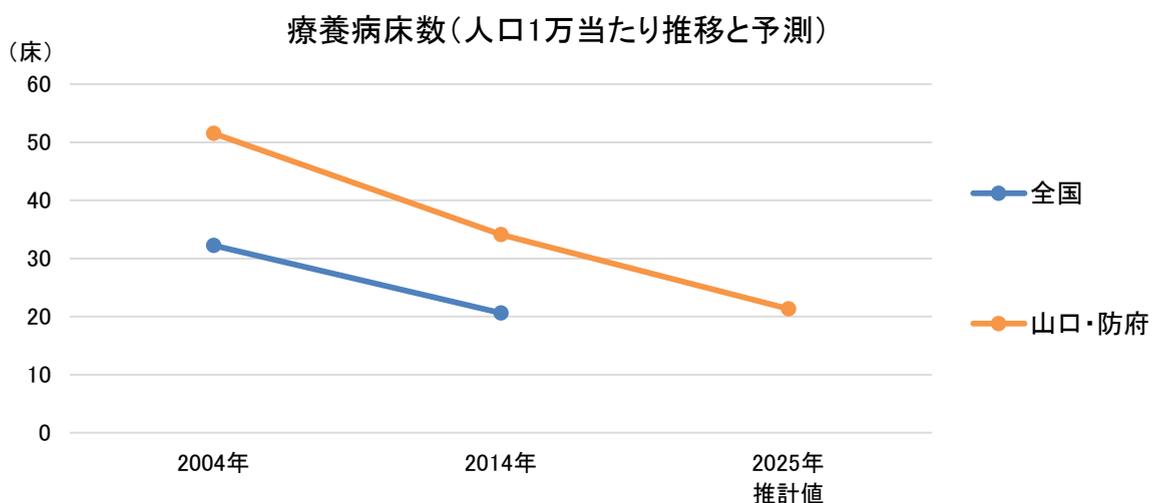
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2585床(人口1万人当たり82(全国平均84)偏差値49)であったが、2014年に2530床(人口1万人当たり82(全国平均79)偏差値51)と、55床の減少、率にして2%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には2470床(2025年の推計人口1万人当たり85)になることが予想される。



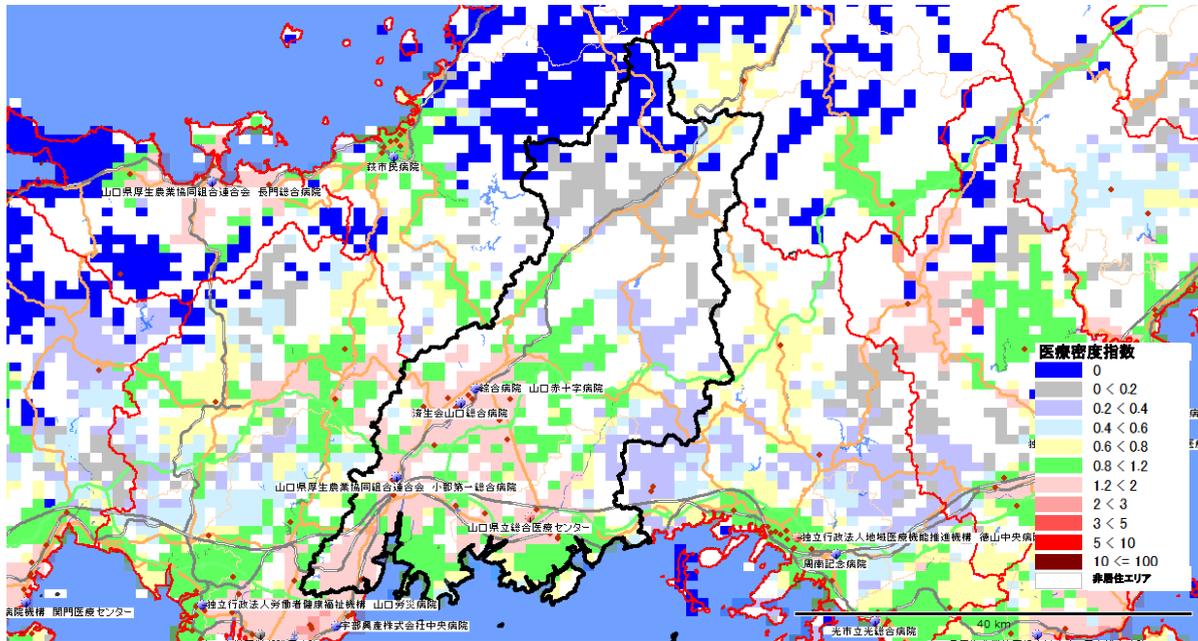
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1759床(75歳以上1000人当たり52(全国平均32)偏差値61)であったが、2014年に1485床(75歳以上1000人当たり34(全国平均21)偏差値62)と、274床の減少、率にして16%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1184床(2025年の推計75歳以上1000人当たり21)になることが予想される。

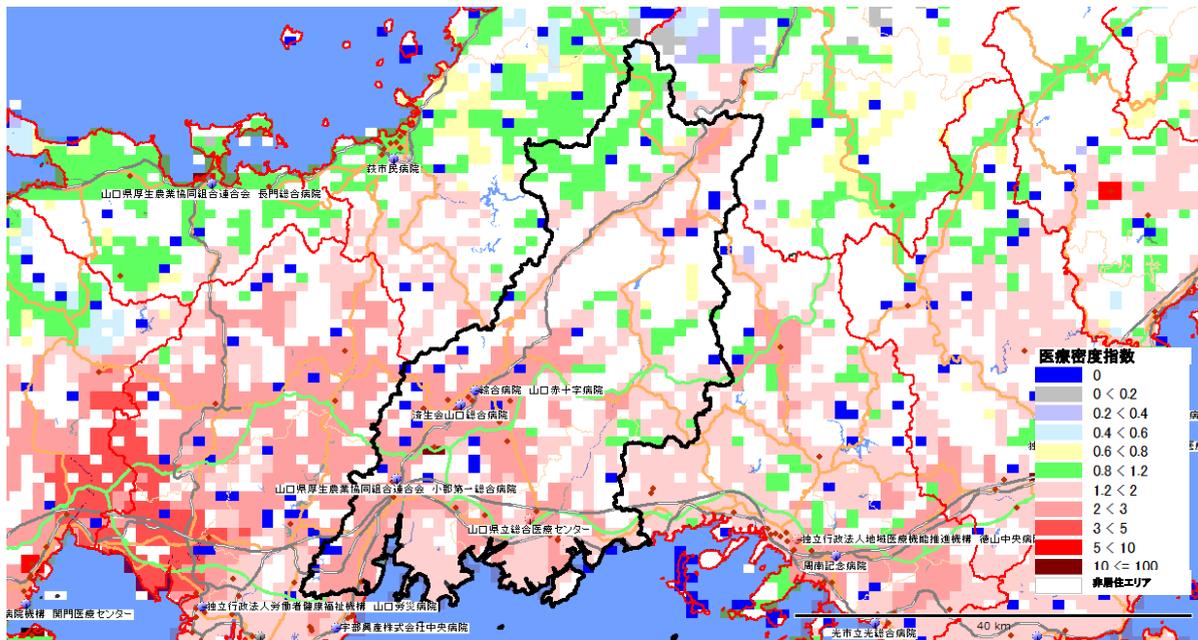


3. 医療密度⁵

図表35-4-1 急性期医療密度指数マップ



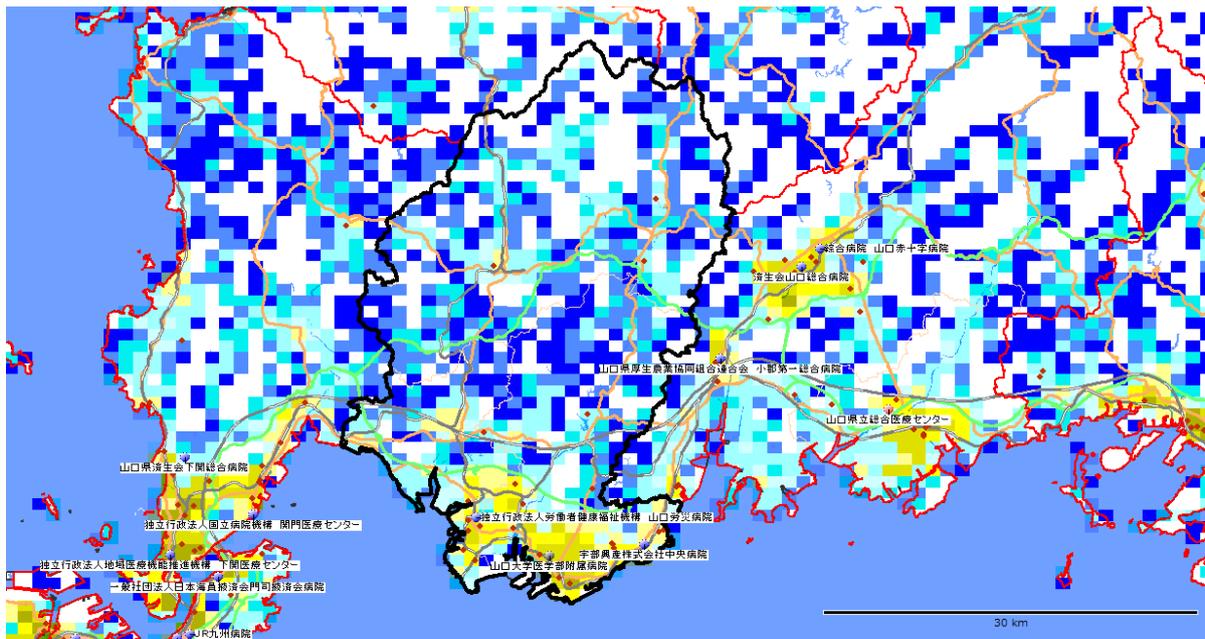
図表35-4-2 慢性期医療密度指数マップ



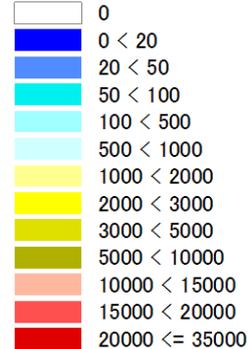
35-5. う べ お の だ 宇部・小野田医療圏

構成市区町村¹⁰ [宇部市](#) [美祢市](#) [山陽小野田市](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

(宇部・小野田医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 宇部・小野田(宇部市)は、総人口約257千人(2015年推計)、面積893km²、人口密度は288人/km²の地方都市型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 宇部・小野田の総人口は2025年に234千人へと減少し(2015年比-9%)、2040年に195千人へと減少する(2025年比-17%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の41千人が、2025年にかけて50千人へと増加し(2015年比+22%)、2040年には46千人へと減少する(2025年比-8%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 宇部・小野田の一人当たり医療費(国保)は424千円(偏差値75)、介護給付費は271千円(偏差値55)であり、医療費は非常に高く、介護給付費はやや高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 宇部・小野田の一人当たり急性期医療密度指数²は1.26、一人当たり慢性期医療密度指数²は3.08で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

***医師・看護師の現状：** 総医師数³の偏差値が62(病院医師数65、診療所医師数54)と、総医師数、病院医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は71と非常に多い。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は63で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は61と多い。宇部・小野田には、年間全身麻酔件数が2000例以上の山口大学医学部附属病院(I群・救命)、1000例以上の山口労災病院(III群)、500例以上の宇部興産中央病院(III群)がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は75と療養病床数は非常に多い。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値58と多く、回復期病床数は偏差値56と多い。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は66で精神病床数は非常に多い。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は58で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 宇部・小野田の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4318人(75歳以上1000人当たりの偏差値54)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が2442床(偏差値50)、高齢者住宅等が1876床(偏差値55)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3250人(75歳以上1000人当たりの偏差値53)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設46、特別養護老人ホーム48、介護療養型医療施設63、有料老人ホーム44、軽費ホーム61、グループホーム50、サ高住66である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値55とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値59と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値60と多い。介護職員(在宅)の合計は、435人(75歳以上1000人当たりの偏差値45)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

***介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数⁴は-14%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

宇部・小野田医療圏の総人口は、2005年275055人が、2015年に257035人と7%減少し、2025年の人口が234351人と予測され、2005年→2025年の間に15%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に6%増加し、2015年から2025年にかけてほぼ増減なしと予測される。

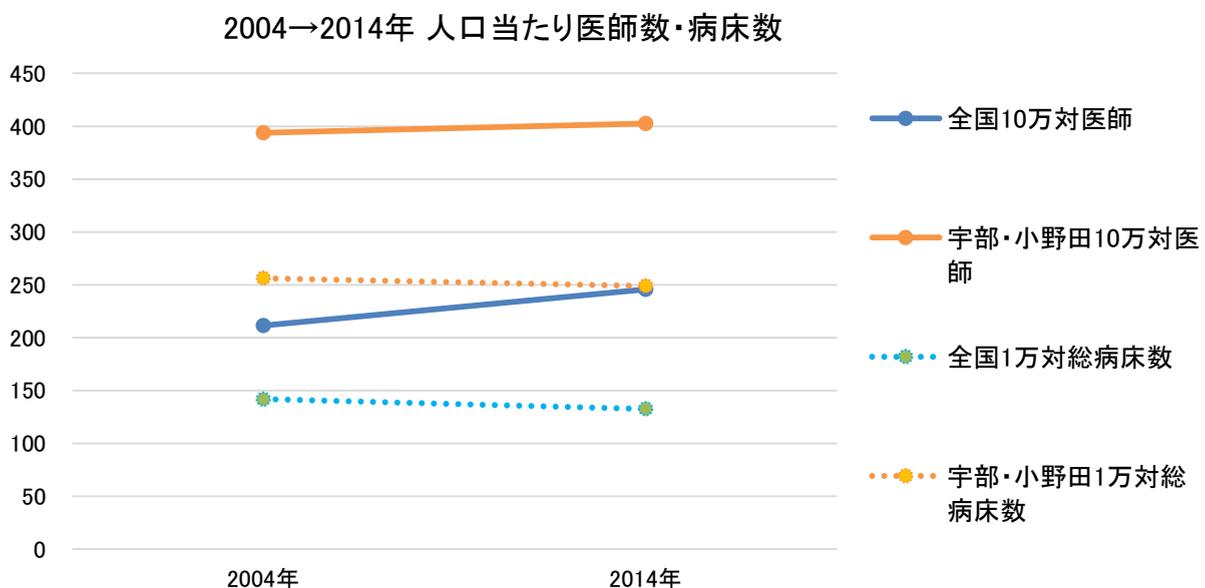
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が31(人口10万人当たり11.3病院(全国平均7.1)偏差値61)であったが、2014年に30(人口10万人当たり11.7病院(全国平均6.7)偏差値62)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が250(人口10万人当たり91診療所(全国平均76)偏差値57)であったが、2014年に246(人口10万人当たり96診療所(全国平均79)偏差値58)と、4診療所が減少した。

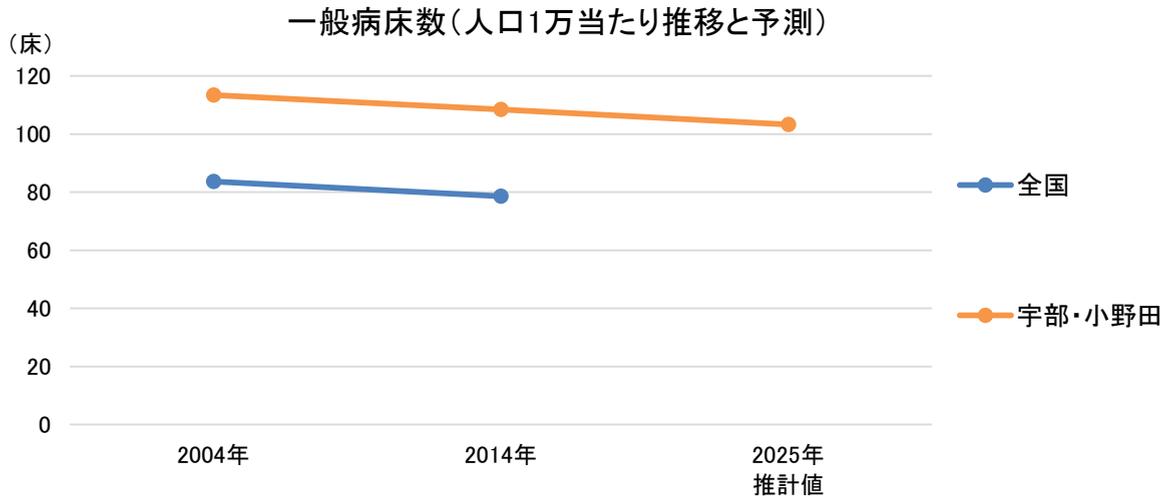
2004年の総病床数が7049床(人口1万人当たり256(全国平均142)偏差値70)であったが、2014年に6399床(人口1万人当たり249(全国平均133)偏差値71)と、650床の減少、率にして9%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数³が1083人(人口10万人当たり394人(全国平均212人)偏差値72)であったが、2014年に1035人(人口10万人当たり403人(全国平均246人)偏差値66)と、48人の減少、率にして4%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



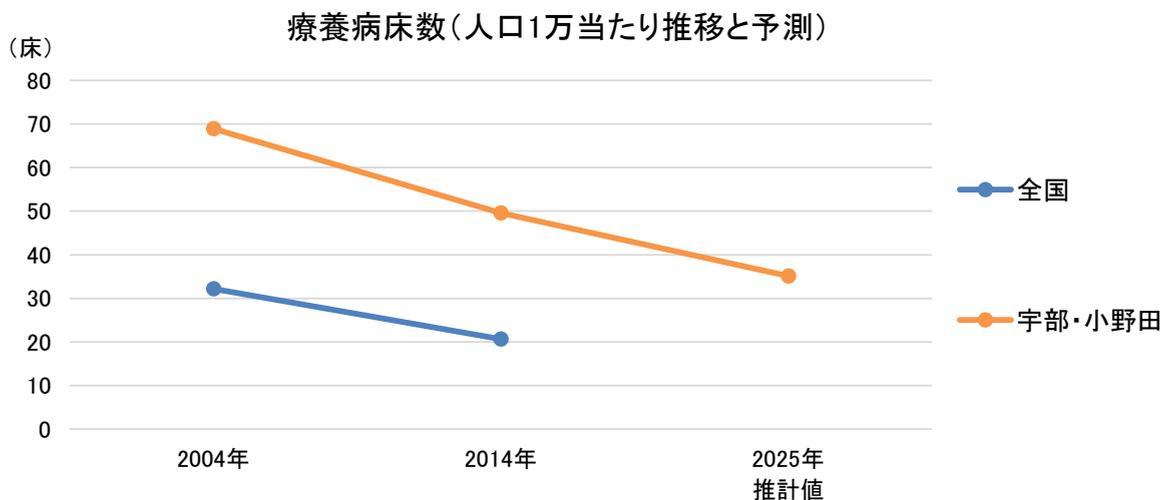
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が3120床(人口1万人当たり113(全国平均84)偏差値61)であったが、2014年に2787床(人口1万人当たり108(全国平均79)偏差値61)と、333床の減少、率にして11%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には2421床(2025年の推計人口1万人当たり103)になることが予想される。



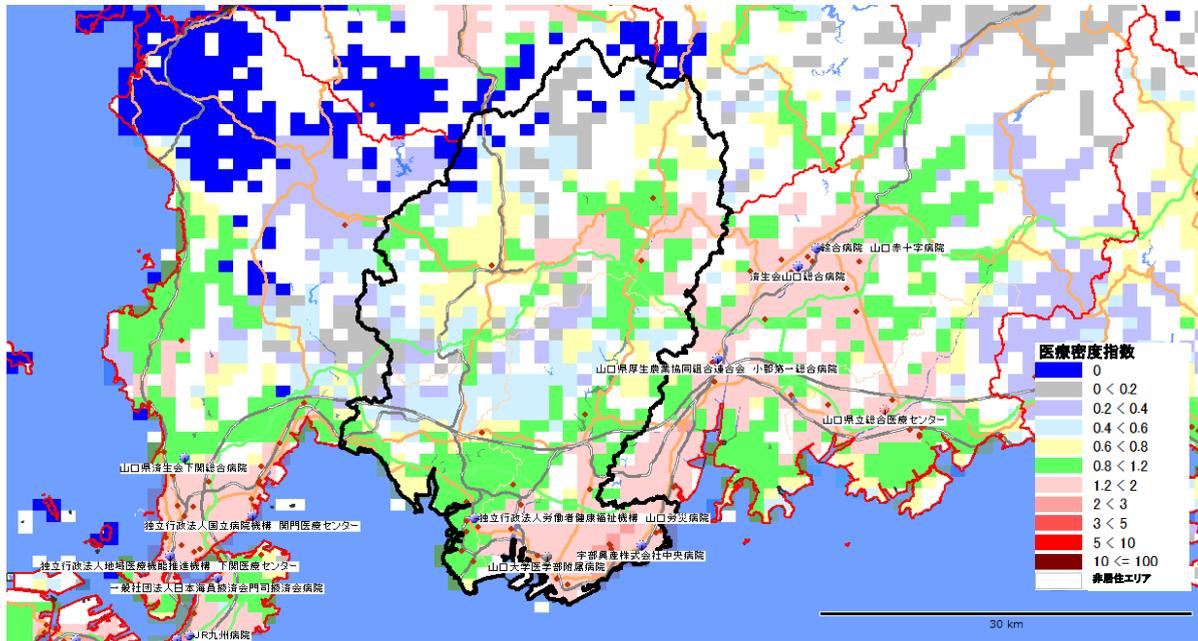
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が2240床(75歳以上1000人当たり69(全国平均32)偏差値71)であったが、2014年に2013床(75歳以上1000人当たり50(全国平均21)偏差値75)と、227床の減少、率にして10%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1763床(2025年の推計75歳以上1000人当たり35)になることが予想される。

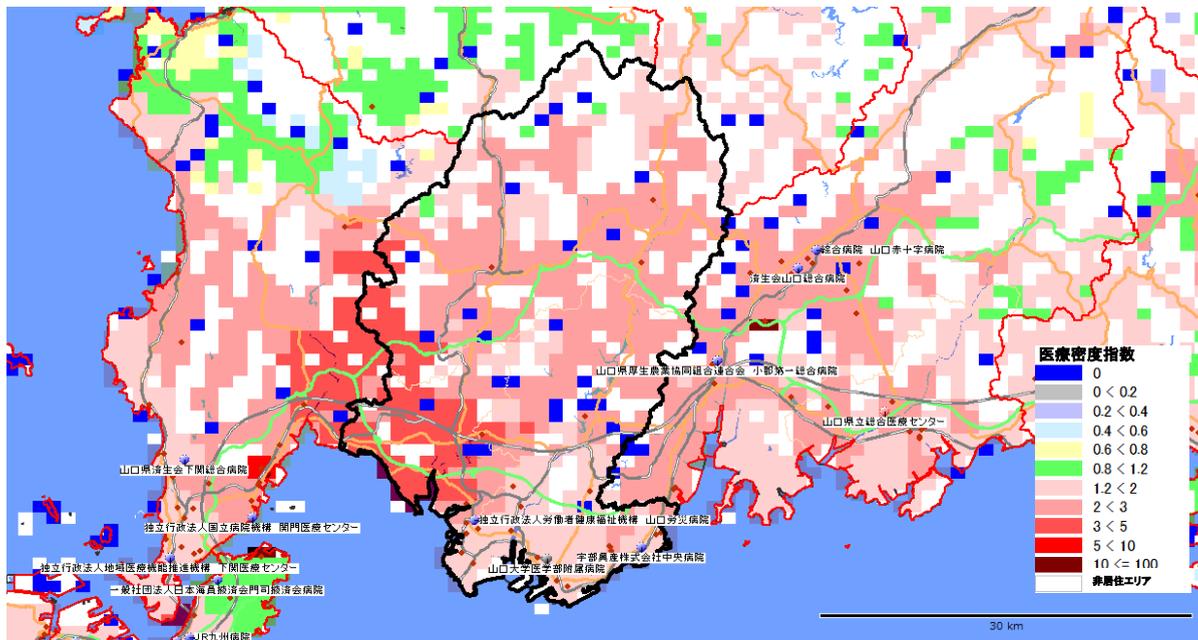


3. 医療密度⁵

図表35-5-1 急性期医療密度指数マップ



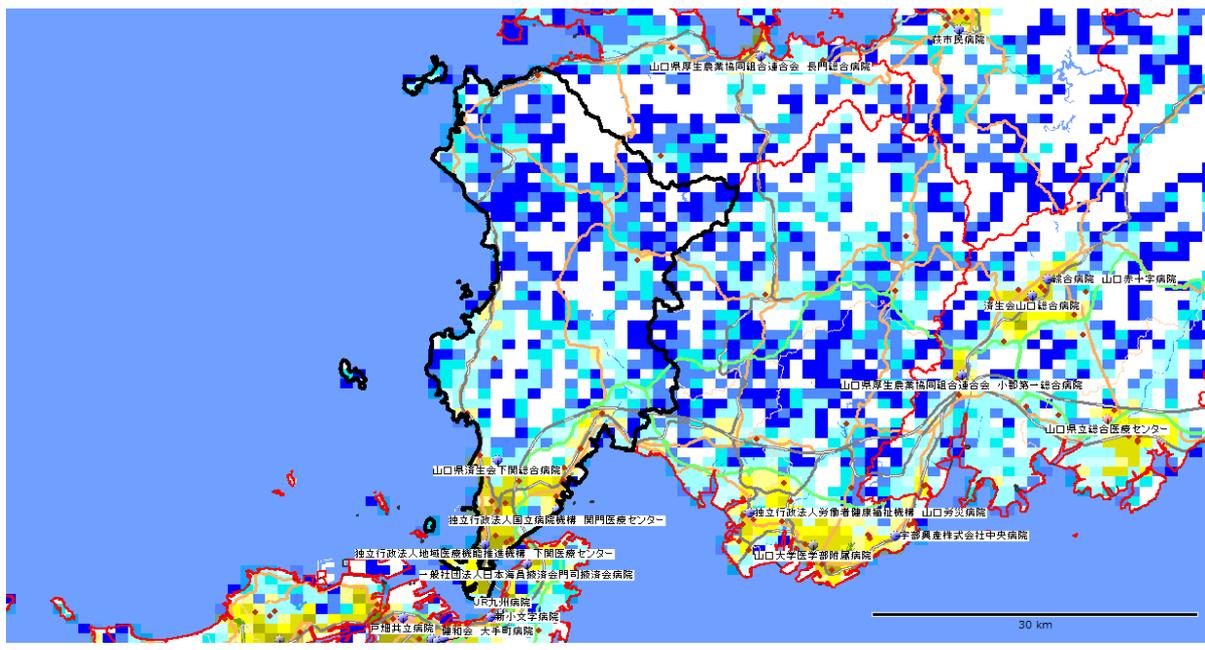
図表35-5-2 慢性期医療密度指数マップ



35-6. しものせき 下関医療圏

構成市区町村¹⁰ [下関市](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



（下関医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

【地域の概要】

***人口、面積など：** 下関(下関市)は、総人口約269千人(2015年推計)、面積716km²、人口密度は375人/km²の地方都市型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 下関の総人口は2025年に242千人へと減少し(2015年比-10%)、2040年に197千人へと減少する(2025年比-19%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の46千人が、2025年にかけて54千人へと増加し(2015年比+17%)、2040年には48千人へと減少する(2025年比-11%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 下関の一人当たり医療費(国保)は401千円(偏差値70)、介護給付費は256千円(偏差値51)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 下関の一人当たり急性期医療密度指数²は1.22、一人当たり慢性期医療密度指数²は2.94で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

***医師・看護師の現状：** 総医師数³の偏差値が52(病院医師数50、診療所医師数56)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は多い。総看護師数の偏差値は68と非常に多い。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は54で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は56と多い。下関には、年間全身麻酔件数が1000例以上の下関市立市民病院(Ⅲ群)、国立病院機構関門医療センター(Ⅲ群・救命)、済生会下関総合病院(Ⅲ群)、500例以上のJCHO下関医療センター(Ⅲ群)がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は79と療養病床数は非常に多い。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値72と非常に多く、回復期病床数は偏差値69と非常に多い。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は57で精神病床数は多い。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は61で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 下関の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3942人(75歳以上1000人当たりの偏差値42)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が2709床(偏差値50)、高齢者住宅等が1233床(偏差値42)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3409人(75歳以上1000人当たりの偏差値49)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設42、特別養護老人ホーム46、介護療養型医療施設70、有料老人ホーム42、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム43、サ高住52である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値48と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値43と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値46とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、590人(75歳以上1000人当たりの偏差値49)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

***介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数⁴は-21%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

下関医療圏の総人口は、2005年290693人が、2015年に268855人と8%減少し、2025年の人口が241519人と予測され、2005年→2025年の間に17%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に6%増加し、2015年から2025年にかけて2%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

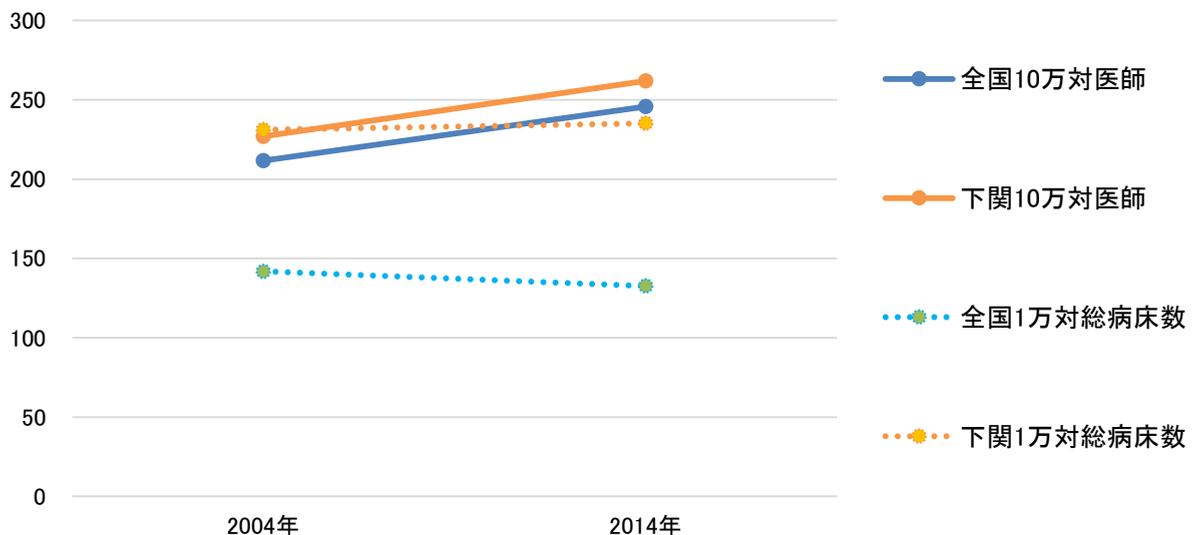
2004年の病院数が31(人口10万人当たり10.7病院(全国平均7.1)偏差値59)であったが、2014年に27(人口10万人当たり10病院(全国平均6.7)偏差値58)となり、10年間で4病院が減少した。

2004年の診療所数が273(人口10万人当たり94診療所(全国平均76)偏差値59)であったが、2014年に273(人口10万人当たり102診療所(全国平均79)偏差値61)と、増減がなかった。

2004年の総病床数が6719床(人口1万人当たり231(全国平均142)偏差値66)であったが、2014年に6323床(人口1万人当たり235(全国平均133)偏差値68)と、396床の減少、率にして6%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

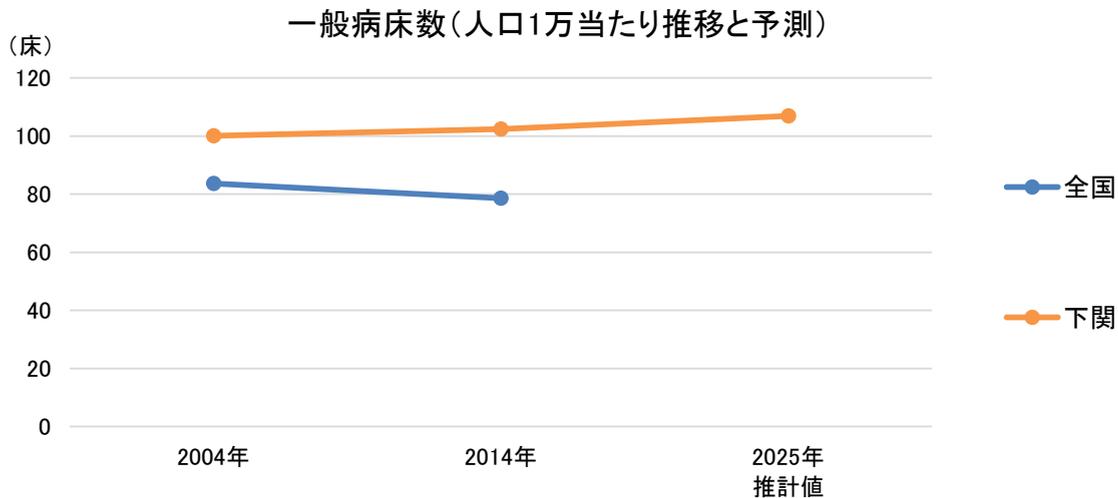
2004年には病院と診療所合わせての医師数³が660人(人口10万人当たり227人(全国平均212人)偏差値52)であったが、2014年に704人(人口10万人当たり262人(全国平均246人)偏差値52)と、44人の増加、率にして7%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



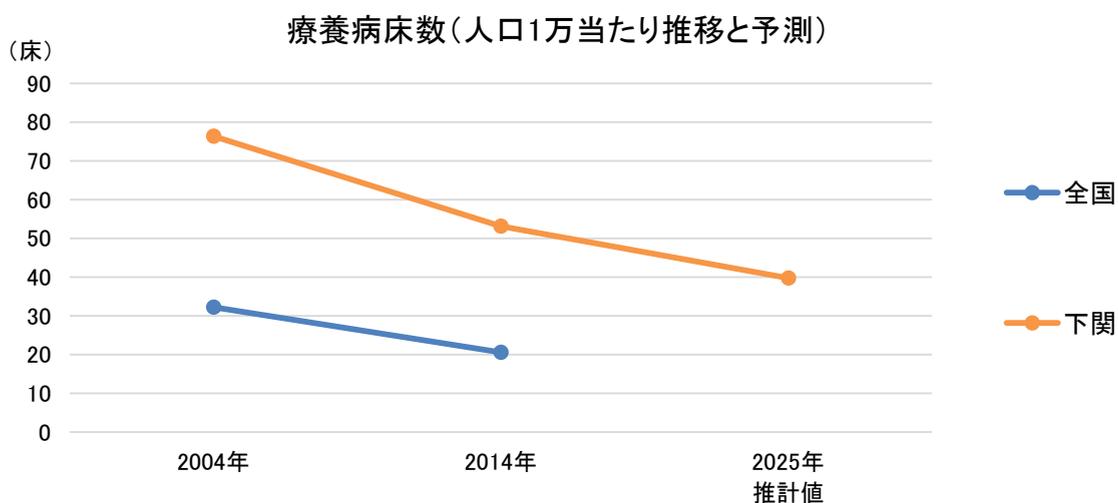
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2909床(人口1万人当たり100(全国平均84)偏差値56)であったが、2014年に2753床(人口1万人当たり102(全国平均79)偏差値59)と、156床の減少、率にして5%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には2581床(2025年の推計人口1万人当たり107)になることが予想される。



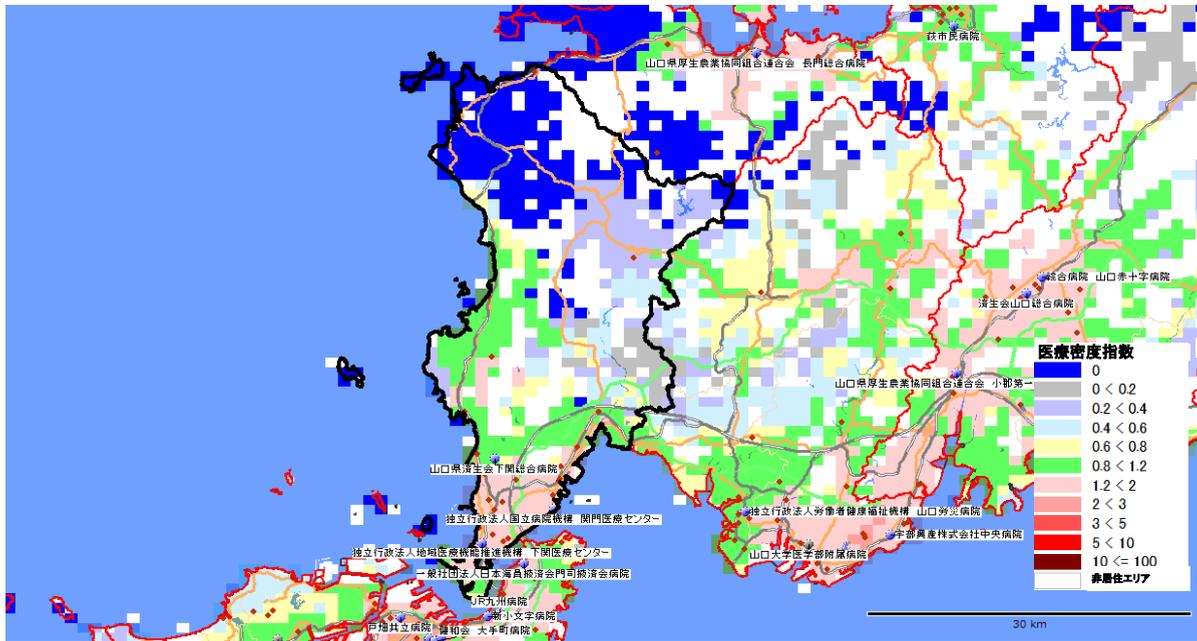
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が2663床(75歳以上1000人当たり76(全国平均32)偏差値75)であったが、2014年に2424床(75歳以上1000人当たり53(全国平均21)偏差値78)と、239床の減少、率にして9%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には2161床(2025年の推計75歳以上1000人当たり40)になることが予想される。

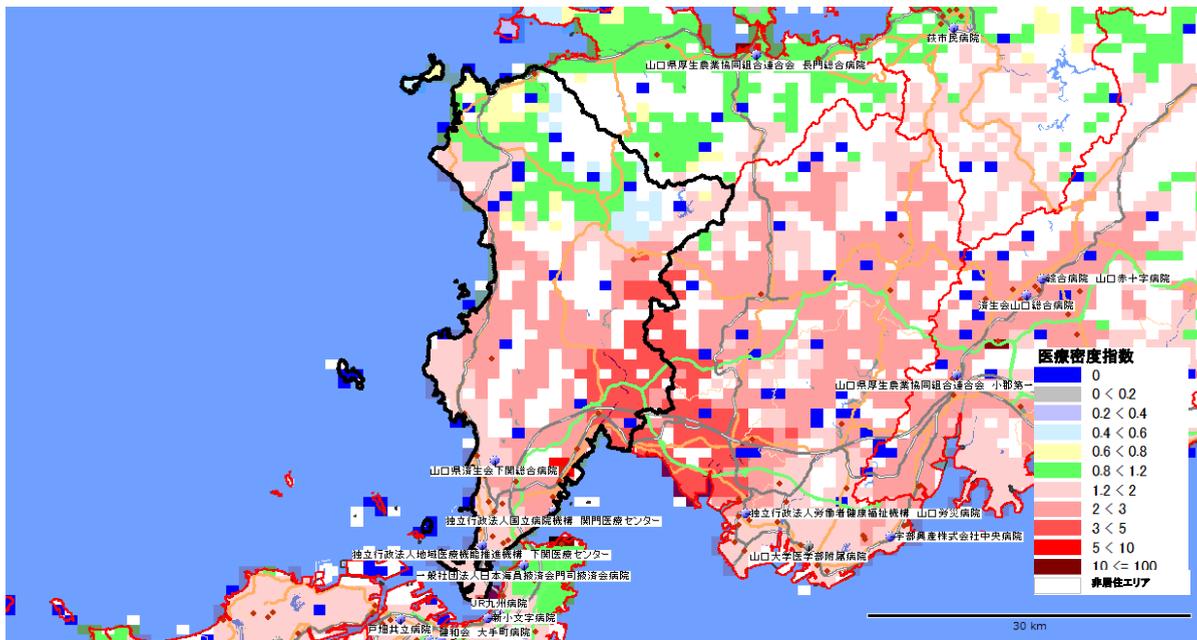


3. 医療密度⁵

図表35-6-1 急性期医療密度指数マップ



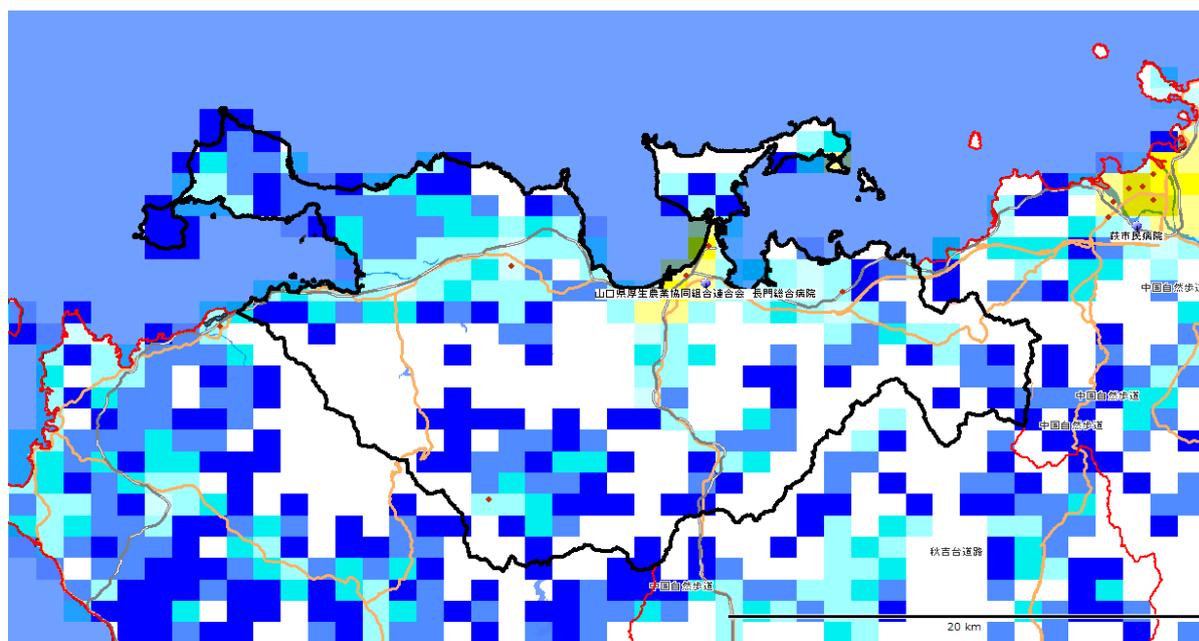
図表35-6-2 慢性期医療密度指数マップ



35-7. ながと 長門医療圏

構成市区町村¹⁰ [長門市](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

(長門医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 長門(長門市)は、総人口約35千人(2015年推計)、面積358km²、人口密度は99人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 長門の総人口は2025年に30千人へと減少し(2015年比-14%)、2040年に22千人へと減少する(2025年比-27%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の8千人が、2025年にかけて8千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年には7千人へと減少する(2025年比-13%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 長門の一人当たり医療費(国保)は405千円(偏差値71)、介護給付費は235千円(偏差値45)であり、医療費は非常に高いが、介護給付費はやや低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 長門の一人当たり急性期医療密度指数²は0.93、一人当たり慢性期医療密度指数²は3.3で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が47(病院医師数50、診療所医師数40)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は67と非常に多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は64で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は43と少ない。長門には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は70と療養病床数は非常に多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値58と多く、回復期病床数は0である。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は79で精神病床数は非常に多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は48で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 長門の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、692人(75歳以上1000人当たりの偏差値45)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が520床(偏差値57)、高齢者住宅等が172床(偏差値39)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、534人(75歳以上1000人当たりの偏差値45)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設53、特別養護老人ホーム61、介護療養型医療施設なし(偏差値40)、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム44、サ高住52である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値45とやや少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値47とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、66人(75歳以上1000人当たりの偏差値41)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数⁴は+12%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

長門医療圏の総人口は、2005年41127人が、2015年に35458人と14%減少し、2025年の人口が29893人と予測され、2005年→2025年の間に27%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に2%減少し、2015年から2025年にかけて7%程度の減少が予測される。

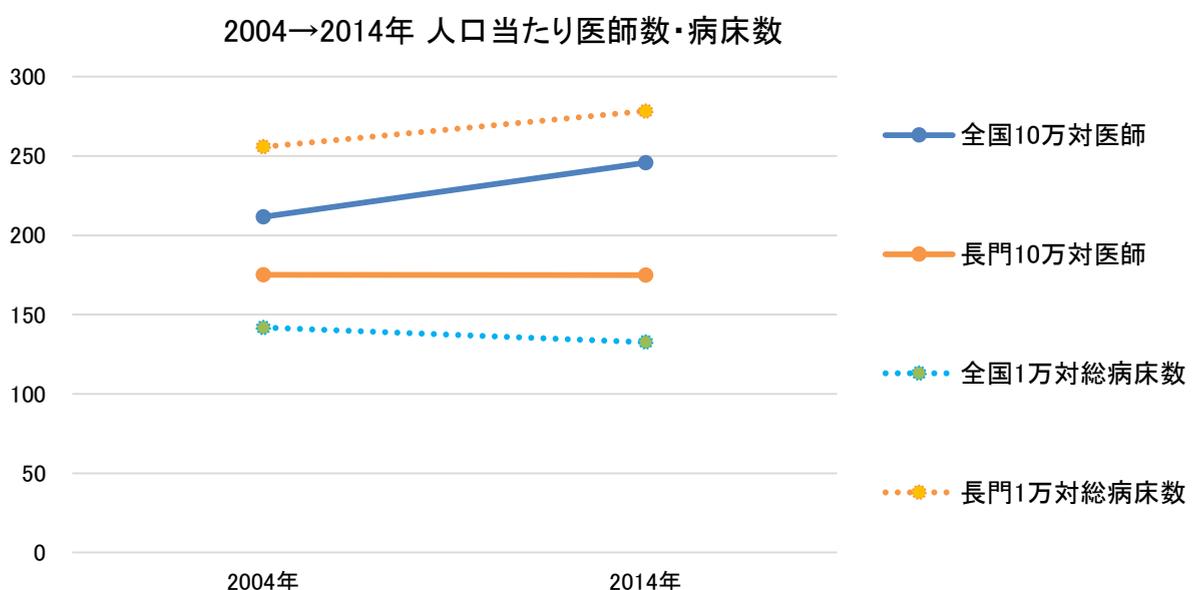
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が6(人口10万人当たり14.6病院(全国平均7.1)偏差値69)であったが、2014年に6(人口10万人当たり16.9病院(全国平均6.7)偏差値75)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が29(人口10万人当たり71診療所(全国平均76)偏差値47)であったが、2014年に27(人口10万人当たり76診療所(全国平均79)偏差値48)と、2診療所が減少した。

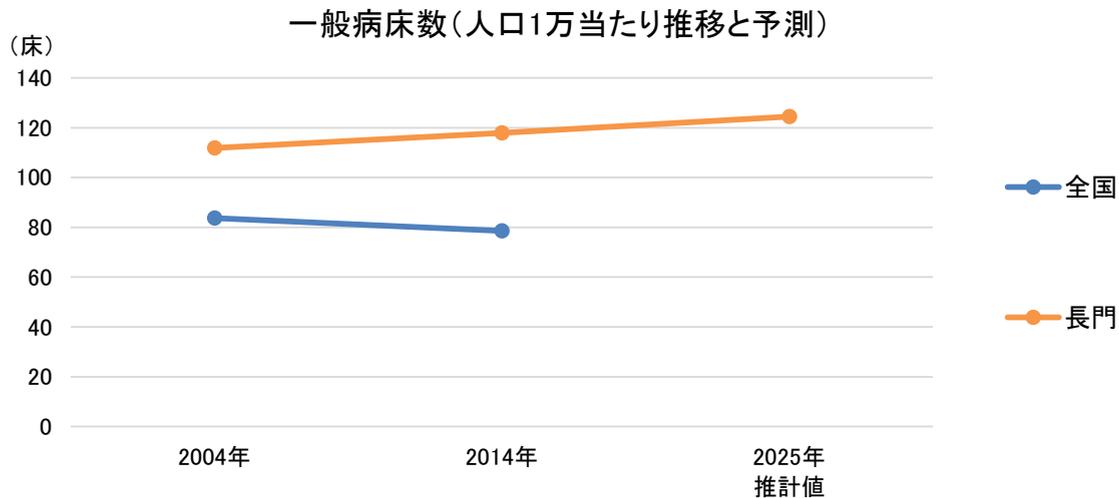
2004年の総病床数が1052床(人口1万人当たり256(全国平均142)偏差値70)であったが、2014年に987床(人口1万人当たり278(全国平均133)偏差値76)と、65床の減少、率にして6%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数³が72人(人口10万人当たり175人(全国平均212人)偏差値46)であったが、2014年に62人(人口10万人当たり175人(全国平均246人)偏差値43)と、10人の減少、率にして14%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



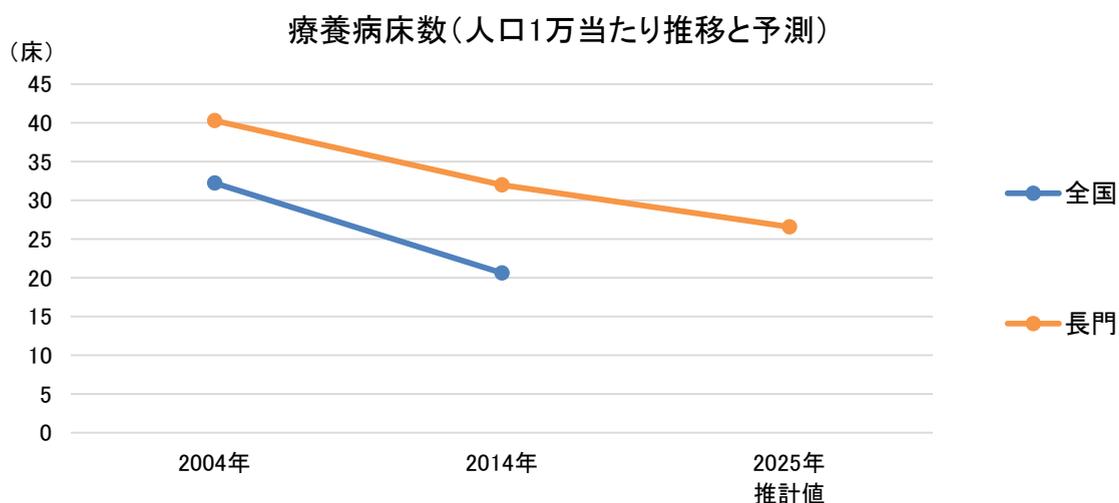
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が460床(人口1万人当たり112(全国平均84)偏差値60)であったが、2014年に418床(人口1万人当たり118(全国平均79)偏差値64)と、42床の減少、率にして9%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には372床(2025年の推計人口1万人当たり124)になることが予想される。



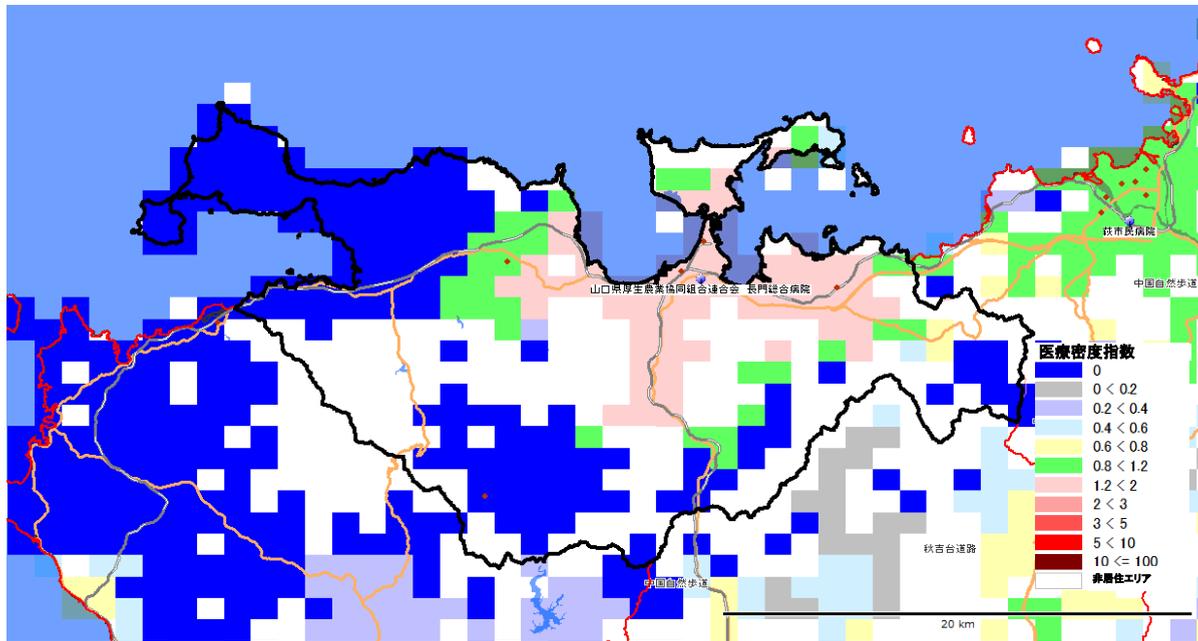
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が266床(75歳以上1000人当たり40(全国平均32)偏差値55)であったが、2014年に243床(75歳以上1000人当たり32(全国平均21)偏差値60)と、23床の減少、率にして9%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には218床(2025年の推計75歳以上1000人当たり27)になることが予想される。

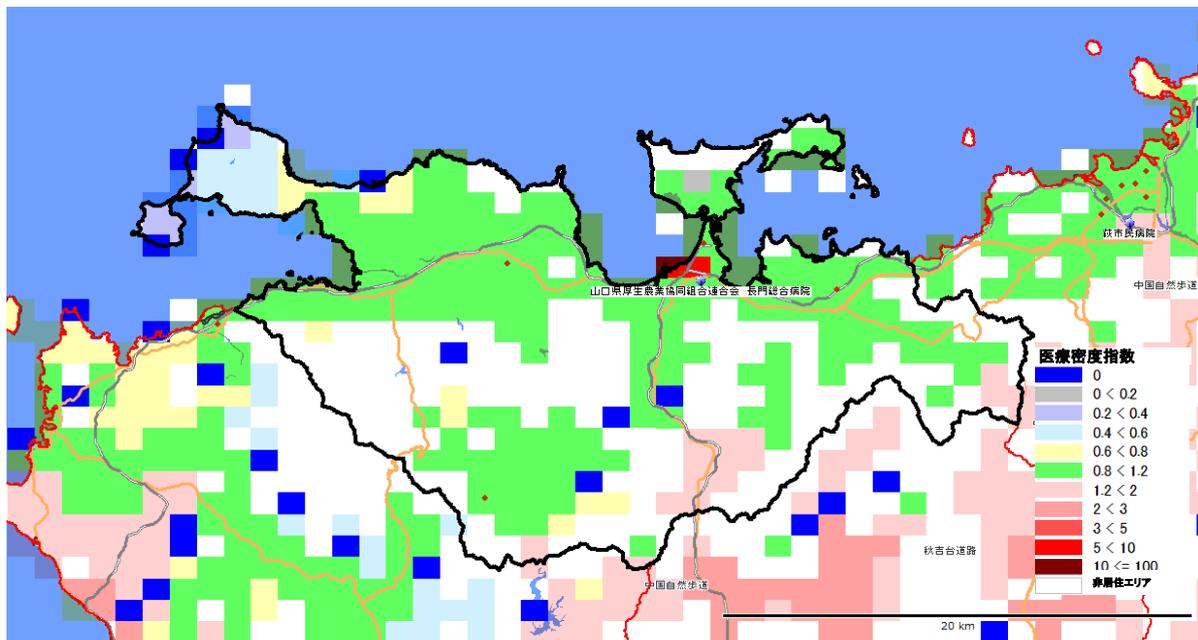


3. 医療密度⁵

図表35-7-1 急性期医療密度指数マップ



図表35-7-2 慢性期医療密度指数マップ

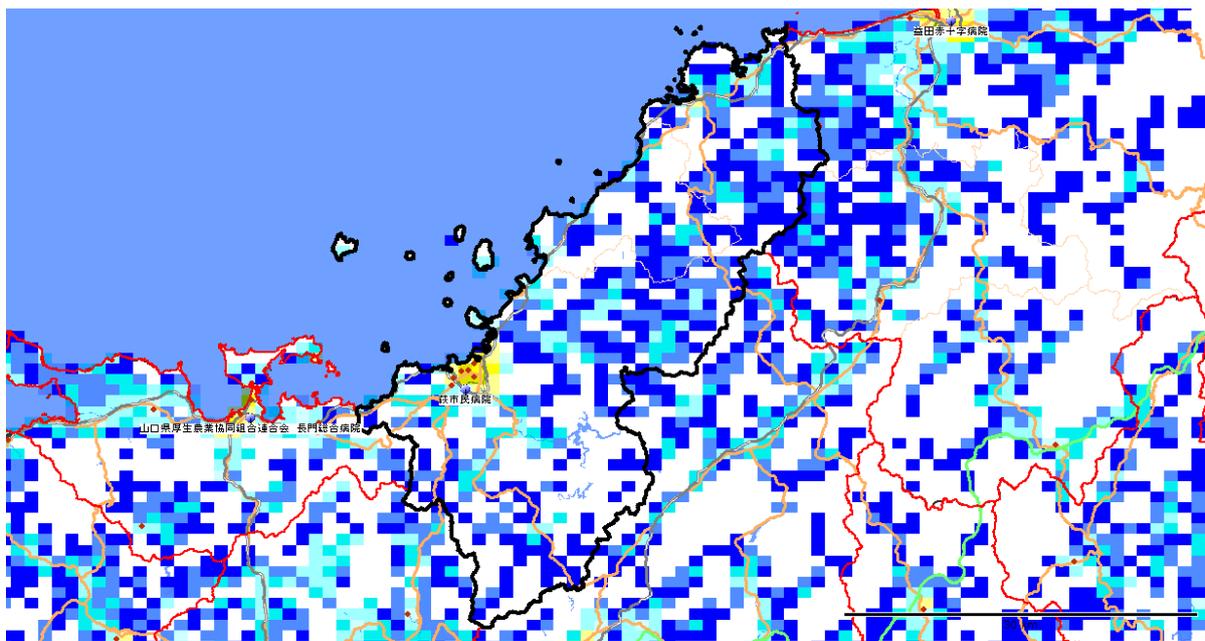


35-8. はぎ萩医療圏

構成市区町村¹⁰ [萩市](#)

[阿武町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

（萩医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

【地域の概要】

***人口、面積など：** 萩(萩市)は、総人口約53千人(2015年推計)、面積815km²、人口密度は65人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 萩の総人口は2025年に44千人へと減少し(2015年比-17%)、2040年に32千人へと減少する(2025年比-27%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の12千人が、2025年にかけて13千人へと増加し(2015年比+8%)、2040年には10千人へと減少する(2025年比-23%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 萩の一人当たり医療費(国保)は387千円(偏差値66)、介護給付費は279千円(偏差値57)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 萩の一人当たり急性期医療密度指数²は0.58、一人当たり慢性期医療密度指数²は2.39で、急性期の医療はかなり少ないが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

***医師・看護師の現状：** 総医師数³の偏差値が45(病院医師数43、診療所医師数51)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、病院医師数は少ない。総看護師数の偏差値は61と多い。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は47で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は44と少ない。萩には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は85と療養病床数は非常に多い。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値43と少なく、回復期病床数は0である。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は55で精神病床数はやや多い。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は62で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 萩の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1016人(75歳以上1000人当たりの偏差値42)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が832床(偏差値58)、高齢者住宅等が184床(偏差値34)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、853人(75歳以上1000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設37、特別養護老人ホーム58、介護療養型医療施設73、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホーム64、グループホーム43、サ高住36である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値40と少なく、在宅療養支援病院は偏差値52と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値32と非常に少ない。介護職員(在宅)の合計は、78人(75歳以上1000人当たりの偏差値37)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

***介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数⁴は+17%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

萩医療圏の総人口は、2005年62091人が、2015年に52813人と15%減少し、2025年の人口が43862人と予測され、2005年→2025年の間に29%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に2%減少し、2015年から2025年にかけて8%程度の減少が予測される。

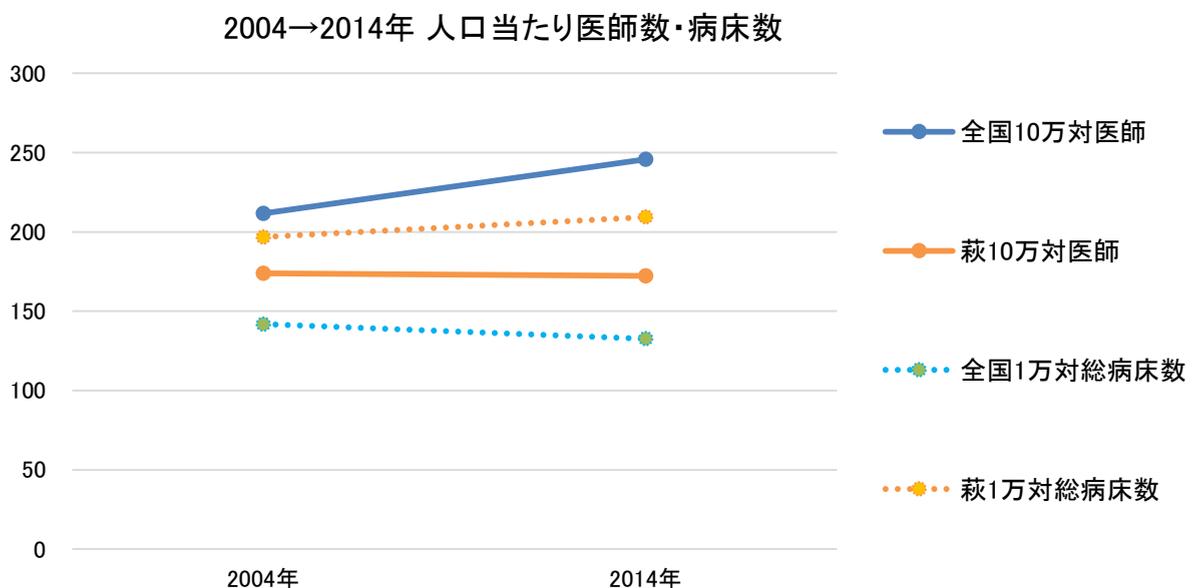
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が7(人口10万人当たり11.3病院(全国平均7.1)偏差値61)であったが、2014年に7(人口10万人当たり13.3病院(全国平均6.7)偏差値66)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が59(人口10万人当たり95診療所(全国平均76)偏差値60)であったが、2014年に54(人口10万人当たり102診療所(全国平均79)偏差値62)と、5診療所が減少した。

2004年の総病床数が1222床(人口1万人当たり197(全国平均142)偏差値60)であったが、2014年に1106床(人口1万人当たり209(全国平均133)偏差値64)と、116床の減少、率にして9%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

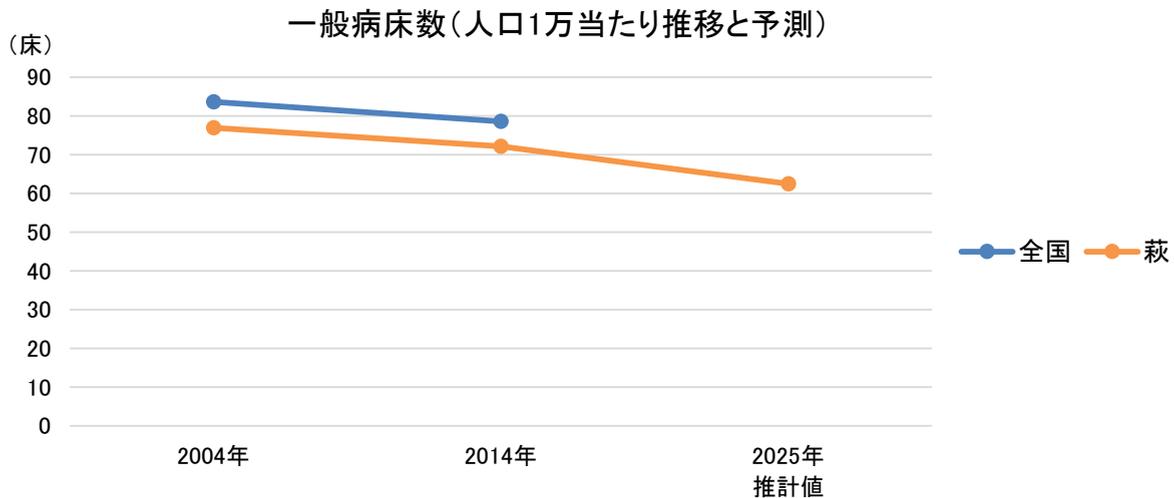
2004年には病院と診療所合わせての医師数³が108人(人口10万人当たり174人(全国平均212人)偏差値46)であったが、2014年に91人(人口10万人当たり172人(全国平均246人)偏差値43)と、17人の減少、率にして16%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



35. 山口県（2016年版）

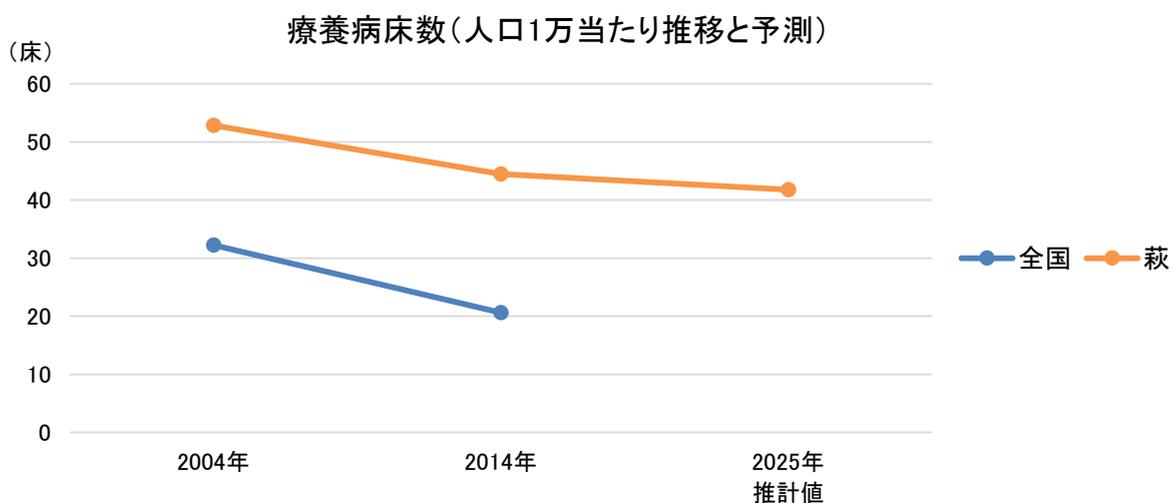
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が478床(人口1万人当たり77(全国平均84)偏差値48)であったが、2014年に381床(人口1万人当たり72(全国平均79)偏差値48)と、97床の減少、率にして20%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には274床(2025年の推計人口1万人当たり62)になることが予想される。



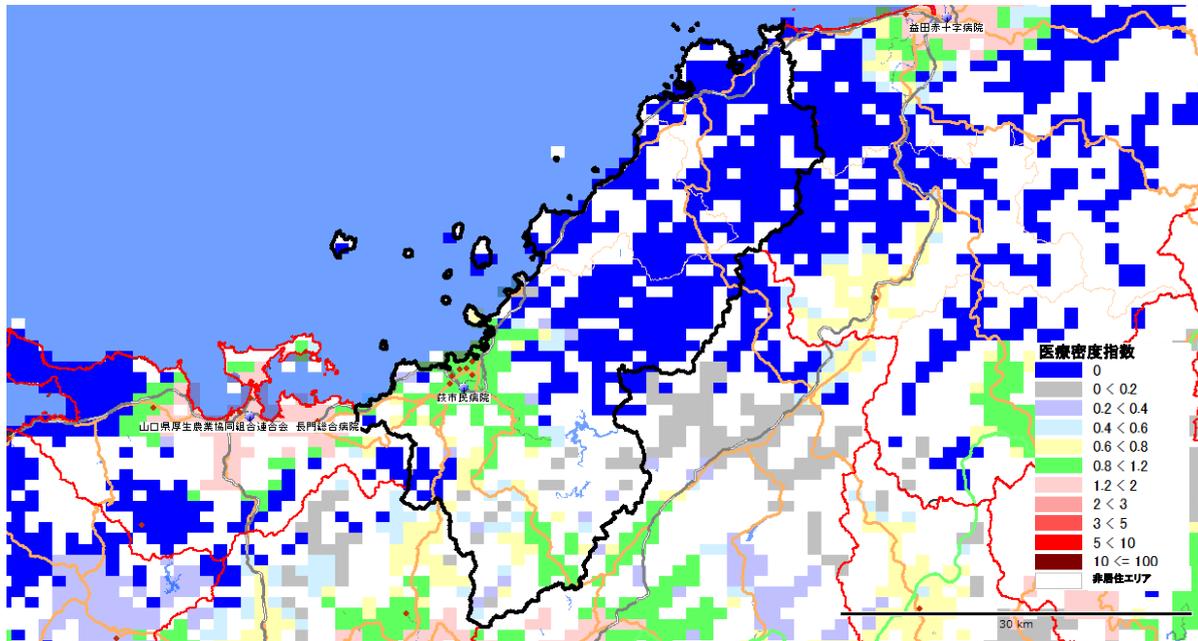
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が532床(75歳以上1000人当たり53(全国平均32)偏差値62)であったが、2014年に528床(75歳以上1000人当たり44(全国平均21)偏差値71)と、4床の減少、率にして1%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には524床(2025年の推計75歳以上1000人当たり42)になることが予想される。

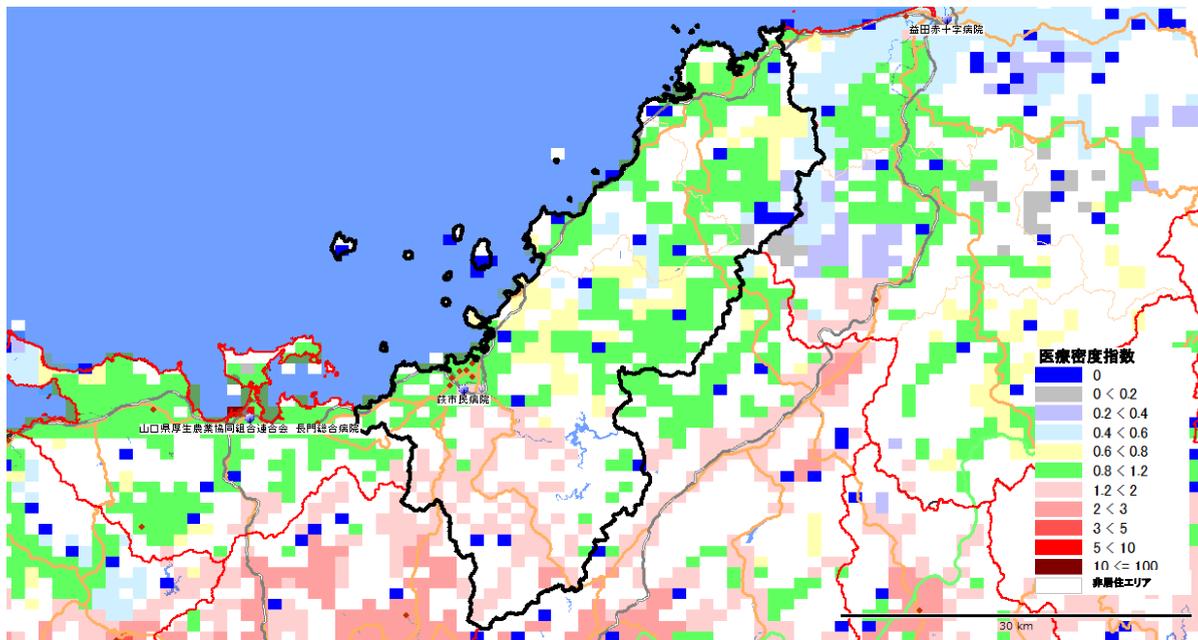


3. 医療密度⁵

図表35-8-1 急性期医療密度指数マップ



図表35-8-2 慢性期医療密度指数マップ



35. 山口県（2016年版）

注

¹1km²区画（1km²メッシュ）で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く（10,000人/km²以上）、黄色系統は中間レベル（1,000～10,000人/km²）、青色系統は人口が少ない（1,000人/km²未満）。白色は非居住地。
出所：国勢調査（平成22年、総務省）地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

²その地域の住民が、どの程度の医療（急性期及び慢性期）を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。

³【医療の現状】で使用した総医師数は、病院医師数（平成26年病院報告（厚生労働省 平成26年10月））と診療所医師数（平成26年医療施設調査（厚生労働省 平成26年10月））の合計。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】で使用した2014年の総医師数は、平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査（厚生労働省 平成26年12月）に基づく病院医師数と診療所医師数の合計。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人（推計）に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2016年の全国平均（99.3床）と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

⁶日医総研WP no. 352「地域の医療提供体制の現状 -都道府県別・二次医療圏別データ集（2015年度版）を更新。ウェルネス・二次医療圏データベースシステム使用。

⁷複数医療圏にまたがる広域連合の医療費・介護費については、構成市町村の医療圏毎の75歳以上人口比で案分した上で、二次医療圏単位で集計している。

⁸近畿厚生局のデータは入手できていないため、合計値には含んでない。人口あたり病床数（全国値）の算出にあたっては、データを入手できていない地域の人口は除いて計算している。

⁹市町村国保の保険者単位のデータしかないため、同一の保険者において複数の二次医療圏をもつ横浜市と川崎市は保険者単位で算出している。

「入院」は、入院診療及び食事療養・生活療養の計である。

「入院外+調剤」は、入院外診療及び調剤の支給の計である。

¹⁰日本医師会JMAP（地域医療情報システム）で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。